

令和2(2020)年度

学生募集要項

(一般入試)

令和2年度の一般入試(令和元年度実施)は、
インターネットを利用した出願方法に変わります。

インターネット出願サイト

<https://e-apply.jp/n/hirosaki-u/>



学部改組のお知らせ

令和2(2020)年4月 医学部心理支援科学科 新設

弘前大学医学部に、新学科として心理支援科学科の新設が認可されました。
令和2年度一般入試(前期日程)で入学者を募集します。

弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

目 次

学 生 募 集 要 項 (一般入試)

① 入学定員 (募集人員)	1
② 実施期日	2
③ 出願資格	2
④ 入学試験の実施方法	3
⑤ 他大学及び本学学部間の併願	3
⑥ 入学者選抜方法等	4
I 入学者選抜方法	4
II 第2志望選抜 (前期日程のみ)	4
III 医学部医学科の合否判定に係る「青森県定着枠」と「一般枠」との関係について	5
IV 医学部医学科の2段階選抜の取扱いについて	5
⑦ 障がい等のある入学志望者の事前相談	6
⑧ 「入試過去問題活用宣言」について	6
⑨ 大学入試センター試験の受験を要する科目等	7
⑩ 令和2年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等	8
I 大学入試センター試験・個別学力検査等	8
II 小論文	13
III 面接	13
IV 出願書類	13
⑪ 採点・評価基準, 合否判定基準	14
⑫ 試験時間割	15
⑬ 試験場	17
⑭ 出願手続	19
⑮ 受験票の印刷	25
⑯ 受験上の注意	25
⑰ 合格者の発表	27
⑱ 入学手続	28
⑲ 追加合格者	29
⑳ 入学試験個人成績の開示	29
㉑ 個人情報の取扱いについて	30
㉒ 入学料及び授業料の免除・徴収猶予を希望される方へのお知らせ	30
㉓ 学生寮への入寮を希望される方へのお知らせ	31
㉔ 各学部の入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)	32
問合せ先一覧	48

弘前大学の一般入試への出願登録は、インターネットにより行ってください。

インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/n/hirosaki-u/>)

なお、出願に当たっては、①インターネット環境、②プリンター、③メールアドレスが必要になります。
また、インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。

出願手続に関する詳細は、募集要項 (19ページ～) で必ず確認してください。

弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めていきます。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していこうとする行動力
- 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには、入学時に学生が身につけておくべき力と卒業時に学生が身につけておくべき力の2つが含まれています。その理由は、大学教育を効果的に実践し、学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには、学生が入学前に身につけて来た学力の芽を大きく育て、花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身につけておくべき力とは、「学力の3要素」です。学力の3要素は、初等中等教育において身につけるべき学力です。その内容は、①基礎的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、となっています。

また、卒業時に学生が身につけるべき力とは、弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には、弘前大学の教育目的が内包されているため、「学力」「行動力」「意欲」は「学力の3要素」と完全一致しているわけではありません。ただし、教育理念の点で、両者は一致しています。よって、弘前大学の入学者選抜では、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は、学部や学科、あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針、入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究を通して、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

(1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

(2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践を通して培います。

(3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるよう、学生の探究の習慣を確立します。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身につけた者に対して学位を授与します。

- － 学際的な教養と高度な専門性を身につけ、学術的観点から自然や社会を見通す力
- － 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- － 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページでご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/policy/policy.html>

弘前大学入学志願者の入学検定料の免除について

弘 前 大 学

災害により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

弘前大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、令和元年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

入学検定料の免除を希望される方は、申請前に必ず学務部入試課までご連絡ください。

1. 免除対象となる入学者選抜試験

令和元年度に実施する学部入試及び大学院入試
(科目等履修生、研究生及び聴講生は対象外となります。)

2. 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、**東日本大震災**（平成23年3月11日発生）、**平成28年熊本地震**及び**令和元年度に災害救助法が適用された地域**で被災し、次のいずれかに該当する方

(1) 学資負担者が居住していた家屋（持家に限る）が、全壊、大規模半壊、半壊、流失と認定された方

東日本大震災においては、岩手県、宮城県及び福島県の全市町村並びに青森県、茨城県、栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住していた方

(2) 学資負担者が災害により死亡または行方不明となった方

(3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難地域、居住制限区域または避難指示解除準備区域に指定された方

※2019年度災害救助法の適用を受けない地域であっても、**り災証明書等**の提出により対象となる場合がありますので、学務部入試課へお問い合わせください。

3. 申請の方法

事前に学務部入試課へ電話等で問い合わせてください。免除対象と判断された方は、所定の申請書に証明書類を添えて、出願書類とともに提出してください。この場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。

諸事情により出願時までに証明書類が準備できない場合は、一旦入学検定料を払い込んで通常の出願を行い、後日証明書類の準備ができ次第、申請書類を提出してください。許可となった場合は、払い込まれた入学検定料を返還いたします。

4. 申請書類

- (1) 「入学検定料免除申請書」
(本学ホームページからダウンロード (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>))
- (2) 証明書類
 - ①「り災証明書」(コピー可) (上記2の(1)に該当する方)
 - ②「死亡または行方不明を証明する書類」(コピー可) (上記2の(2)に該当する方)
 - ③「被災証明書」(コピー可) (上記2の(3)に該当する方)

5. 許可または不許可の通知について

- (1) 許可者には、受験票を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。(一旦、通常の出願を行った後の申請の場合は、入学検定料の「払戻請求書」を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。)
- (2) 不許可者には、別途通知いたします。
この場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。(受験票の送付は、払い込みが確認された後となります。)

6. その他

- (1) 入学検定料の免除申請の手続き(事前連絡を含む)をせずに検定料を払い込んだ場合は、検定料の返還はできませんので、ご注意ください。
- (2) 令和元年度に災害救助法が適用された地域で被災された場合であっても、すでに出願期間が終了している入学者選抜試験については、入学検定料の免除はできません。
- (3) 入学検定料の免除を許可された方であっても、申請に虚偽があった場合は、許可の日にさかのぼってこれを取り消します。その場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。
- (4) 入学料及び授業料の減免等については、本学の「入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度」がありますので、別途申請が必要になります。
- (5) 本件について、不明の点がありましたら、下記にお問い合わせください。

(本件に関する書類提出先・問合せ先)

〒036-8560 弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

【学部入試担当】 TEL: 0172-39-3122

【大学院入試担当】 TEL: 0172-39-3973

FAX: 0172-39-3125

1 入学定員(募集人員)

学部	学科・課程等	入学定員	募集人員				
			一般入試		AO入試(※2)		社会人入試
			前期日程	後期日程	I	II	
人文社会科学部	文化創生課程	110	70	15	25		若干名
	社会経営課程	155	(国) 60 (数) 40	(※1) 20 (※3) 35			若干名
	計	265	170	35	60		
教育学部	小学校コース	80	34	20	26		若干名
	学校教育員養成課程	50	7				若干名
	初等中学校		7				若干名
	国語専修		7				若干名
	社会専修		7				若干名
	数学専修		7				若干名
	理科専修		7				若干名
	音楽専修		3				若干名
	美術専修		3				若干名
	保健体育専修		5				若干名
	技術専修		3				若干名
	家庭科専修		3				若干名
	英語専修		5				若干名
	特別支援教育専攻	10	5				若干名
	養護教諭養成課程	20	14				若干名
	計	160	92	20	22	26	
医学部	医学科	112	(※4) 70				若干名
	看護学専攻	80	60				若干名
	放射線技術科学専攻	40	30				若干名
	検査技術科学専攻	40	30				若干名
	理学療法学専攻	20	15				若干名
	作業療法学専攻	20	15				若干名
	小計	200	150				若干名
	心理支援科学科	10	10				若干名
	計	322	230			92	
理工学部	数学科	78	数) 20 数理) 20	数) 7 理) 11	(※6) 20 (※7)		若干名
	物質創成化学科	52	29	10	13		若干名
	地球環境防災学科	65	30	18	17		若干名
	電子情報工学科	55	31	10	(※8) 14		若干名
	機械学科	80	40	20	(※9) 20		若干名
	自然エネルギー学科	30	15	5	10		若干名
	計	360	185	81	94		
農学生命科学部	生物学科	40	26	7		7	若干名
	分子生命科学科	40	22	11		7	若干名
	食料資源学科	55	33	12	10		若干名
	国際園芸農学科(※10)	50	25	12	(※11) 13		若干名
	地域環境工学科	30	18	6	6		若干名
	計	215	124	48	29	14	
合計		1,322	801	184	205	132	

(※1) 人文社会科学部「一般入試(前期日程)」の国)は個別学力検査における国語選択者、数)は数学選択者の募集人員です。

(※2) 「AO入試I」は大学入試センター試験を課さないものであり、「AO入試II」は大学入試センター試験を課すものです。

(※3) 人文社会科学部社会経営課程「AO入試I」では、「商業に関する高等学校、商業又は情報処理に関する学科、総合学科(商業又は情報の単位を20単位以上修得した者)」から、8人程度の合格者を予定しています。

(※4) 医学部医学科「一般入試(前期日程)」の募集人員70人には、青森県定着枠の募集人員20人を含みます。

(※5) 医学部医学科「AO入試II」の募集人員42人には、青森県内枠(青森県内出身者、かつ、青森県・青森県国民健康保険団体連合会が募集する青森県弘前大学医師修学資金制度の修学生として支援を受ける者)27人を含みます。

(※6) 理工学部数学科「一般入試」の数)は個別学力検査における数学選択者、数理)は数学及び理科選択者、理)は理科選択者の募集人員です。

(※7) 理工学部数学科「AO入試I」では、数学講義選択者と物理学講義選択者から同数程度の合格者を予定しています。

(※8) 理工学部電子情報工学科「AO入試I」では、「高等学校等の工業又は商業に関する学科(高等専門学校の学科を含む)及び総合学科」から、合わせて5人以上の合格者を予定しています。

(※9) 理工学部機械学科「AO入試I」では、「高等学校等の工業に関する学科(高等専門学校の学科を含む)」から、3人程度の合格者を予定しています。

(※10) 農学生命科学部国際園芸農学科は、「海外研修入門」が必修単位となります。詳細については、12ページの注記を確認してください。

(※11) 農学生命科学部国際園芸農学科「AO入試I」では、「高等学校等の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科」から、4人程度の合格者を予定しています。

2 実施期日

「前期日程」及び「後期日程」は、以下の日程で実施します。

試験区分	インターネット出願登録 及び入学検定料支払期間	出願書類受付期間
一般入試 (前期日程・後期日程)	令和2年1月24日(金) ～2月5日(水) 16時30分	令和2年1月27日(月) ～2月5日(水) 17時 郵送必着

前 期 日 程	試験実施日	令和2年2月25日(火) 令和2年2月26日(水) (2日間にわたり実施します)	人文社会科学部、教育学部、 医学部保健学科、医学部心理支援科学科、 理工学部、農学生命科学部 医学部医学科
	合格者発表	令和2年3月6日(金)午後2時(予定)	→詳細はp.27
	入学手続期限	令和2年3月15日(日)まで	→詳細はp.28

後 期 日 程	試験実施日	令和2年3月12日(木)	人文社会科学部、教育学部、 理工学部、農学生命科学部
	合格者発表	令和2年3月20日(金)午後2時(予定)	→詳細はp.27
	入学手続期限	令和2年3月27日(金)まで	→詳細はp.28

追加合格者の決定	令和2年3月28日(土)～ 令和2年3月31日(火)	→詳細はp.29
----------	-------------------------------	----------

3 出願資格

本学を受験できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等（7ページの表参照）を全て受験した者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

なお、出願資格(8)の入学資格審査を申請する者は、令和元年12月13日（金）までに入試課へ問合せのうえ、申請書類を提出してください。

一般入試（前期日程）医学部医学科「青森県定着枠」を受験できる者は、上記(1)～(8)のいずれかに該当し、かつ、卒業（医師国家試験合格を前提）後、下記の事項について遵守する者です。

- ① 卒業後、直ちに弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設の臨床研修プログラムにしたがって臨床研修を行うこと。
- ② 上記臨床研修修了後、引き続き弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設で医療に従事すること。
- ③ 上記①②の定めの下で、臨床研修開始後少なくとも9年間医療に従事すること。
- ④ 「医療従事」の範囲及び「医療従事期間中」の詳細について、別に示す確約書内容を遵守すること。

医学部保健学科放射線技術科学専攻の志願者は、高校若しくは中等教育学校で数学Ⅰ～Ⅲ又は理数数学Ⅰ～Ⅱの科目を履修していることが必要です。

※大学入試センター試験受験上の注意

- (1) 大学入試センター試験において、本学の指定した教科・科目を受験しない場合（英語についてはリスニングを受験しない場合も含む。ただし、リスニングの受験を免除された者は除く。）は、出願資格がなくなりますので、科目名、科目数には十分注意してください。
- (2) 本学では、過年度の大学入試センター試験の成績は利用しません。

4 入学試験の実施方法

本学の一般入試は、学科又は課程の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」による「分離分割方式」で個別学力検査を実施します。

ただし、教育学部の一部の課程・専修・コース及び医学部医学科・保健学科・心理支援学科では、「後期日程」での募集はしません。（1ページ「**1 入学定員（募集人員）**」参照）

5 他大学及び本学学部間の併願

志願者は、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの国公立大学に出願することができます。

したがって、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められません。

また、本学学部間においても、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの学部又は同一学部の学科・課程・専攻・コース・専修に併願することができます。

なお、併願を希望する場合は、それぞれに入学検定料を納め、出願書類を提出しなければなりません。

6 入学者選抜方法等

I 入学者選抜方法

入学者の選抜は、令和2年度大学入試センター試験の成績と、本学が実施する個別学力検査・小論文・面接及び出願書類の内容を総合して行います。

なお、本学の指定した教科・科目等を1つでも受験していない場合には、合格者とはなりませんので、注意してください。

II 第2志望選抜（前期日程のみ）

本学では、複数の学科・課程・専攻・コースに進学意欲を持つ受験者、あるいは将来複数の分野の職業に興味を持っている受験者に広く進学機会を与えるため、当該学科等の志願状況等を考慮のうえ第2志望学科等に基づく入学者選抜を実施します。

- (1) 第2志望選抜は、一般入試**前期日程**において実施します。
- (2) 第2志望選抜を実施する学科等は、下記「**第2志望選抜を実施する学部学科等**」に示したとおりです。（同一学部内で、大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点並びに個別学力検査の教科及び配点が統一されている学科等毎に実施します。）
- (3) 第2志望選抜を実施する学科等の志願者のうち、複数の学科等に進学意欲を持っている者は、出願の際に第2志望学科等を指定することができます。なお、第2志望選抜を希望しない志願者は、出願の際にその旨を意思表示してください。
- (4) 入学者の選抜は、各学科等が定める募集人員の9割を第1志望の志願者から成績順に選考し、残りの1割は第1志望・第2志望の志願者を区別せずに成績順に選考します。

第2志望選抜を実施する学部学科等

- (1) 下記のいずれかのグループ（下記A～E）内の学科・課程・専攻に出願する場合のみ、当該学科等と同グループの学科等を第2志望として選択することができます。

※下記に記載されている学科等以外に出願する場合は、第2志望選抜を希望することができません。

A	人文社会 科学部	文化創生課程	社会経営課程（国語選択）
---	-------------	--------	--------------

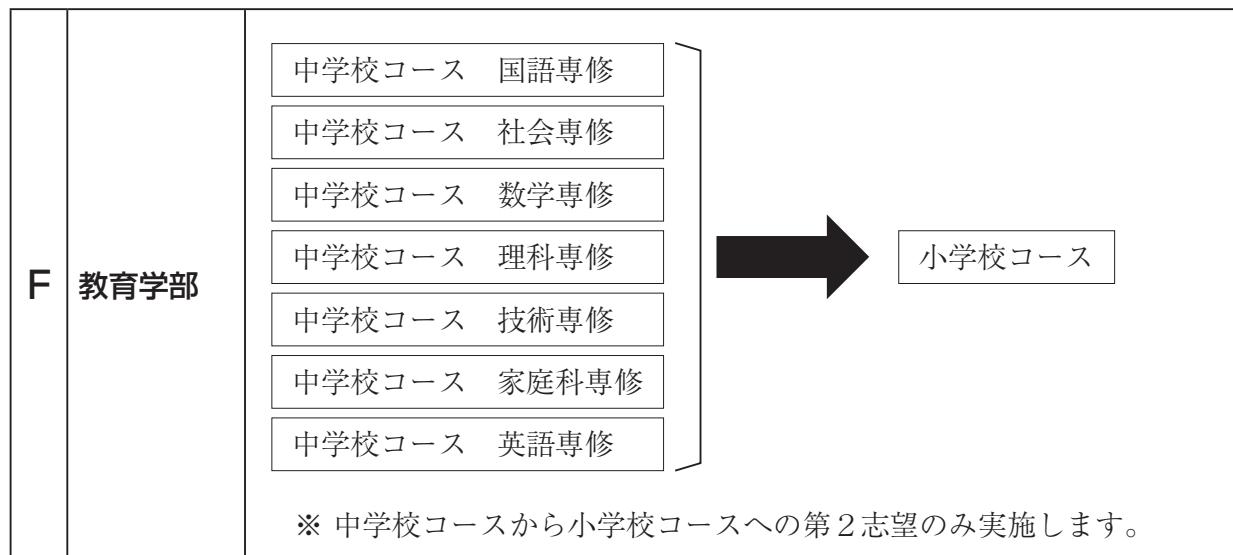
B	医学部 保健学科	看護学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻
---	-------------	-------	---------	---------

C	理工学部	数物科学科（数学理科選択）	物質創成化学科	地球環境防災学科
		電子情報工学科	機械科学科	自然エネルギー学科

D	農学生命 科学部	生物学科	分子生命科学科
---	-------------	------	---------

E	農学生命 科学部	食料資源学科	国際園芸農学科
---	-------------	--------	---------

- (2) 教育学部の第2志望選抜は、中学校コースから小学校コースへの第2志望のみ実施します。



III 医学部医学科の合否判定に係る「青森県定着枠」と「一般枠」との関係について

- (1) 「青森県定着枠」受験者のうち合計点の点数順に上位20人を「青森県定着枠」合格者とします。
- (2) (1)の結果「青森県定着枠」において不合格となった者を「一般枠」に組み入れます。すなわち、「一般枠」と「青森県定着枠（のうち不合格者）」を併せて、上位50人を「一般枠」の合格者とします。
- (3) 上記において、面接の得点が低いと不合格になる場合があります。

IV 医学部医学科の2段階選抜の取扱いについて

- (1) 2段階選抜は、医学部医学科前期日程の志願倍率が8倍を超えた場合に、大学入試センター試験の教科・科目（10ページ参照）の成績の合計点（1,000点満点）により行い、その合格者に個別学力検査等を行います。ただし、上記倍率を超えた場合でも個別学力検査等を適切に実施できると判断した場合は、第1段階選抜の倍率を緩和することがあります。
- (2) 第1段階選抜を実施する場合は、志願者全員に「第1段階選抜結果通知書」を送付するとともに、不合格者には「入学検定料返還手続書類」を速達郵便で送付します。
なお、第1段階選抜の結果通知は令和2年2月12日（水）以降に郵送しますが、2月17日（月）を過ぎても届かない場合は、入試課へお問い合わせください。
- (3) 第1段階選抜の実施の有無については、以下のとおり発表しますので、必ず確認してください。

第1段階選抜実施有無の発表日時：令和2年2月12日（水）午後2時（予定）

Webサイト：<https://daigakujc.jp/hirosaki-u/>

7 障害等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、令和2年1月6日（月）までに、あらかじめ入試課へ申し出たうえで「弘前大学入学者選抜試験に係る事前相談申請書」（所定様式）を提出してください。

なお、相談内容によっては、事前の準備等に時間を要する場合がありますので、できるだけ早めにご相談ください。

○連絡先

弘前大学学務部入試課
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
電話 0172-39-3122

○様式ダウンロード先

弘前大学入試情報ホームページ (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>)

8 「入試過去問題活用宣言」について

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認められる範囲で「宣言参加大学」及び「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した場合には、入試終了後、本学ホームページ上で公表します。

※関連サイト「入試過去問題活用宣言ページ」→ <http://www.nyushikakomon.jp/>

9 大学入試センター試験の受験を要する科目等

選抜方法	国語	地理歴史				公 民		数学①		数学②		理 科				外国語																	
		国 界	世 界	世 界	日 本	日 本	地 理	地 理	現 代	倫 理	政 治	倫 理	數 學	數 學	數 學	數 學	薄 記	情 報	物 理	化 生	地 物	化 生	地 理	英 語 (リス ニン グ 含 む)	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 國 語	韓 國 語					
学部・学科名	語	A	B	A	B	A	B	会	理	済	基	I	A	II	B	計	関 係	基 礎	基 礎	基 礎	理	物	學	語	語	語	語	語	語	語	語	語	
人文社会科学部	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6教科7科目 又は 6教科8科目
教育学部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5教科7科目 から 6教科8科目	
医学部	医学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	5教科7科目	
	保健学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	5教科7科目
	心理支援科学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5教科7科目 から 6教科8科目	
理工学部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5教科7科目 又は 5教科8科目	
農学生命科学部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5教科7科目 又は 5教科8科目	

- (注) • ◎は必須、●はいずれか1科目を必ず含むもの、○は選択科目を示しています。
• □囲みの数字は受験科目数を表しています。
• 大学入試センター試験で受験できる教科・科目の組み合わせについては、大学入試センター試験の受験案内で確認してください。
• 地理歴史においては、A・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
• 理科についてA～Dの選択パターンがあります。

- A 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目選択
- B 物理、化学、生物、地学から1科目選択
- C 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目選択及び
物理、化学、生物、地学から1科目選択（同一名称を含む科目同士の選択も認める）
- D 物理、化学、生物、地学から2科目選択

- ・人文社会科学部及び教育学部ではA～Dのいずれかのパターンから選択してください。
 - ・医学部医学科及び保健学科では、Dのパターンを選択してください。ただし、地学は選択対象外です。心理支援科学科では、A～Dのいずれかのパターンから選択してください。
 - ・理工学部では、C又はDのパターンを選択してください。ただし、いずれの選択においても物理基礎、物理、化学基礎、化学から1科目を含む必要があります。
 - ・農学生命科学部では、C又はDのパターンを選択してください。
 - ・英語には、リスニングを含みます。リスニングを受験しない場合は、出願資格がなくなります。ただし、リスニングを免除された者は除きます。
英語の配点については、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を、200点満点に換算して利用します。
なお、英語以外の科目を受験した者及びリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。

10 令和2年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等

I 大学入試センター試験・個別学力検査等

人文社会科学部

学力検査等の日程・ 実施する学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点								
	教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	計	配点合計
前 期	文化創生課程 社会経営課程 (国語選択)	国 地歴 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B から 1 現社, 倫, 政経, 政経 から 1	外	国語を 1 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B から 1 現社, 倫, 政経, 政経 から 1	国語総合 コミュニケーション英語 I・II・III, 英語表現 I・II	センター	200	100	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,500	
				数 I, 数 I・数 A, 数 II, 数 II・数 B 簿, 情報 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学	国語総合 コミュニケーション英語 I・II・III, 英語表現 I・II	個別	300				300	600		1,500
	社会経営課程 (数学選択)	理 外 英, 独, 仏, 中, 韓 から 1 [6教科7科目又は6教科8科目] (※) 「数学」, 「理科」の組み合わせで成績 を利用するので, 科目数不足とな らないよう注意してください。 (例) 「数学」が 1 科目の場合は, 「理 科」は C 又は D パターンでの受験が 必要です。	外	国語総合 コミュニケーション英語 I・II・III, 英語表現 I・II	センター	200	100	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,500		
				数 I・数 II・数 A・数 B (注1) コミュニケーション英語 I・II・III, 英語表現 I・II	センター	200	100	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,500		
後 期	文化創生課程 社会経営課程	(※) 「数学」, 「理科」の組み合わせで成績 を利用するので, 科目数不足とな らないよう注意してください。 (例) 「数学」が 1 科目の場合は, 「理 科」は C 又は D パターンでの受験が 必要です。	その他	小論文	センター	200	100	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,800		

【個別学力検査等】

(注1) 「数学 B」の出題範囲は、「数列, ベクトル」とします。

○大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。

ただし、「理科」については、第1解答科目の成績を優先して用います。

○「調査書」の評価は、5段階評価とし、総合判定の資料とします。

教育学部

学力検査等の日程・ 実施する学科等名			大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点										
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	計	配点合計	
前 期	教員養成課程	小学校コース	国	国語を1	から1 又は2 (※1)	から1	国	国語総合	200 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900			
			地歴	世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B			数理	数I・数II・数III・数A・数B (注1)		500						1,300	
			公民	現社,倫,政経,倫政経			外	物理基礎,物理 化学基礎,化学 生物基礎,生物 地学基礎,地学 コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II		個別	*400	*400	*400 (注2)	*400	400		
			数	数I,数I・数A, 数II,数II・数B, 簿,情報			国	国語総合	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
			理	物理基礎,化学基礎, 生物基礎,地学基礎, 物理,化学,生物,地学			個別	400	500					400			
			外	英,独,仏,中,韓 から1			国	国語総合	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
				[5教科7科目から6教科8科目]			個別	400	500					400			
				(※1)「地歴」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。			数	数I・数II・数III・数A・数B (注1)	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
				(※2)「地歴」、「公民」、「数学」、「理科」の組み合わせで成績を利用しますので、科目数不足とならないよう注意してください。			個別		400					400			
				(例)「地歴」、「公民」か「数学」のどちらかが1科目の場合は、「理科」はC又はDパターンでの受験が必要です。			理	物理基礎,物理 化学基礎,化学 生物基礎,生物 地学基礎,地学	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							理	物理基礎,物理 化学基礎,化学 生物基礎,生物 地学基礎,地学	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		400 (注2)					400			
							理	物理基礎,物理 化学基礎,化学 生物基礎,生物 地学基礎,地学	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							国	国語総合	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							外	コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							国	国語総合	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							数	国語総合 数I・数II・数III・数A・数B (注1)	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別	*400	*400					400			
							理	物理基礎,物理 化学基礎,化学 生物基礎,生物 地学基礎,地学	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		400 (注2)					400			
							外	コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							国	国語総合	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							数	国語総合 数I・数II・数III・数A・数B (注1)	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別	*400	*400					400			
							理	物理基礎,物理 化学基礎,化学 生物基礎,生物 地学基礎,地学	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		400 (注2)					400			
							外	コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							国	国語総合	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							数	国語総合 数I・数II・数III・数A・数B (注1)	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別	*400	*400					400			
							理	物理基礎,物理 化学基礎,化学 生物基礎,生物 地学基礎,地学	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		400 (注2)					400			
							外	コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							国	国語総合	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							数	国語総合 数I・数II・数III・数A・数B (注1)	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別	*400	*400					400			
							理	物理基礎,物理 化学基礎,化学 生物基礎,生物 地学基礎,地学	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		400 (注2)					400			
							外	コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							国	国語総合	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							数	国語総合 数I・数II・数III・数A・数B (注1)	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別	*400	*400					400			
							理	物理基礎,物理 化学基礎,化学 生物基礎,生物 地学基礎,地学	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		400 (注2)					400			
							外	コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							国	国語総合	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	1,300		
							個別		500					400			
							数	国									

医学部

学力検査等の日程・ 実施する学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点																							
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	出願書類	計	配点合計															
前 期	医学科	国 地歴	国語を1 世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B から1	数 外 その他の 面接(注3)	センター	200	100	200	300	200				1,000															
		公民	現社,倫,政経,倫政経 数I・数Aを1 数II・数Bを1 物理,化学,生物から2 英,独,仏,から1		個別			300		300	300(注3)		900	1,900															
		数	数I・数II・数III・数A・数B(注1) コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	3																									
		理 外	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	2																									
		外	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	3																									
	保健学科 看護学専攻	国 地歴	国語を1 世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B から1	数 外 その他の 面接(注3)	センター	200	100	200	200	200				900	1,300														
		公民	現社,倫,政経,倫政経 数I・数Aを1 数II・数B,情報から1 物理,化学,生物から2 英,独,仏,中,韓から1		個別			200		200				400															
	保健学科 放射線技術科学 専攻	数	数I・数II・数A・数B(注1) コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	2	センター	200	100	200	200	200				900	1,300														
		理 外	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	3	個別				200(注2)	200				400															
		外	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	3																									
	保健学科 検査技術科学 専攻	数	数I・数II・数A・数B(注1) コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	2	センター	200	100	200	200	200				900	1,300														
		外	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	3	個別				200(注2)	200				400															
	保健学科 理学療法学専攻	数	数I・数II・数A・数B(注1) コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	2	センター	200	100	200	200	200				900	1,300														
		外	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	2	個別			200		200				400															
	保健学科 作業療法学専攻	数	数I・数II・数A・数B(注1) コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	2	センター	200	100	200	200	200				900	1,300														
		外	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 コミュニケーション英語I・II・III, 英語表現I・II	2	個別			200		200				400															
	心理支援科学科	国 地歴	国語を1 世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B から1又は2 (※1)	国 数 外 その他の 出願書類 (調査書,志望理由書)(注4)	センター	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200				900	1,340														
	公民	現社,倫,政経,倫政経 数I,数II・数A, 数II・数Bから1又は2 物理基礎,化学基礎, 生物基礎,地学基礎, から1~3 物理,化学,生物,地学 英,独,仏,中,韓から1 から5又は6 (※2)		個別	*200		*200		200				40	440															
【個別学力検査等】																													
(注1) 「数学B」の出題範囲は、「数列, ベクトル」とします。																													
(注2) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。																													
(注3) 医学科の面接は、事前に提出される「自己推薦書」を資料に用いて実施します。なお、面接の得点が低いと不合格になる場合があります。																													
(注4) 心理支援科学科では、出願書類(調査書,志望理由書)をA~Dに4段階評価し、点数化します。																													
各段階の評価点数は、A: 40点, B: 30点, C: 20点, D: 10点とします。																													
○医学科の2段階選抜は、前期日程の志願倍率が8倍を超える場合に、大学入試センター試験の教科・科目の成績の合計点(1,000点満点)により行い、その合格者に個別学力検査等を行います。ただし、上記倍率を超えた場合でも個別学力検査を適切に実施できると判断した場合は、第1段階選抜の倍率を緩和することがあります。																													
○保健学科放射線技術科学専攻の志願者は、高等学校若しくは中等教育学校で数学I~III又は理数数学I~IIの科目を履修していることが必要です。																													
○医学科及び保健学科では、「調査書」の評価は、5段階評価とし、総合判定の資料とします。																													
○配点に*印を付している教科は、選択を表します。																													
○医学科では、大学入試センター試験の「理科」の配点について、物理,化学,生物から選択した2科目の合計点(計200点満点)を、300点満点に換算して利用します。																													
○大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。																													
ただし、医学科及び保健学科においては、「地歴」、「公民」について、第1解答科目的成績を用います。																													
また、心理支援科学科においては、「地歴」、「公民」及び「理科」について、第1解答科目的成績を優先して用います。																													

理工学部

学力検査等の日程・ 実施する学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点							
	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計
前期	数物科学科 (数学選択)	国語を1	数	数I・数II・数III・数A・数B (注1)	センター	200	100	200	200	200	900	1,700
		地歴世A,世B,日A,日B,地理A,地理B		から1	個別			800			800	
	数物科学科 (数学理科選択)	公民現社,倫,政経,倫政経	数理	数I・数II・数III・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学	センター	200	100	200	200	200	900	1,700
		数I,数II・数Aから1 数II,数B,簿,情報から1		から1	個別			300	500 (注2)		800	
	物質創成化学科	物理基礎,化学基礎, 生物基礎,地学基礎, 物理,化学,生物,地学	数理	数I・数II・数III・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物	センター	200	100	200	200	200	900	1,700
		から2又は3 (※)		から1	個別			300	500 (注2)		800	
	地球環境防災学科	英,独,仏,中,韓から1	数理	数I・数II・数III・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	センター	200	100	200	200	200	900	1,700
		[5教科7科目又は5教科8科目] (※) C又はDのパターンを選択してください。ただし、いずれの選択においても物理基礎,物理,化学基礎,化学から1科目を含む必要があります。		から1	個別			300	500 (注2)		800	
	電子情報工学科		数理	数I・数II・数III・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	センター	200	100	200	200	200	900	1,700
				から1	個別			300	500 (注2)		800	
	機械科学科		数理	数I・数II・数III・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	センター	200	100	200	200	200	900	1,700
				から1	個別			300	500 (注2)		800	
後期	自然エネルギー学科		数理	数I・数II・数III・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	センター	200	100	200	200	200	900	1,700
				から1	個別			300	500 (注2)		800	
	数物科学科 (数学選択)		数	数I・数II・数III・数A・数B (注1)	センター	200	100	200	200	200	900	1,500
					個別			600			600	
	数物科学科 (理科選択)		理	物理基礎・物理 化学基礎・化学	センター	200	100	200	200	200	900	1,500
				から1	個別				600 (注2)		600	
	物質創成化学科		理	物理基礎・物理 化学基礎・化学	センター	200	100	200	200	200	900	1,500
				から1	個別				600 (注2)		600	
	地球環境防災学科		理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 地学基礎・地学	センター	200	100	200	200	200	900	1,500
				から1	個別				600 (注2)		600	
	電子情報工学科		理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	センター	200	100	200	200	200	900	1,500
				から1	個別				600 (注2)		600	
	機械科学科		理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	センター	200	100	200	200	200	900	1,500
				から1	個別				600 (注2)		600	
	自然エネルギー学科		理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	センター	200	100	200	200	200	900	1,500
				から1	個別				600 (注2)		600	

【個別学力検査等】

(注1) 「数学B」の出題範囲は、「数列, ベクトル」とします。

(注2) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。

○「調査書」の評価は、5段階評価とし、総合判定の資料とします。

○大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。

ただし、「地歴」、「公民」については、第1解答科目的成績を用います。

農学生命科学部

学力検査等の日程・ 実施する学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点									
	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	配点合計	
前 期	生物学科 分子生命科学科 地歴 公民	国語を1 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B 現社,倫,政経,倫政経 数I,数II・数Aから1 数II,数B,簿,情報から1 物理基礎,化学基礎, 生物基礎,地学基礎, 物理,化学,生物,地学 英,独,仏,中,韓から1	理 数 外	理 [物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物]	から1	センター	200	100	200	200	200	900	1,300	
						個別				400 (注2)		400		
				理 [物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学]	から1	センター	200	100	200	200	200	900	1,300	
						個別				400 (注2)		400		
				数 [数I・数II・数A・数B] (注1)	から2又は3	センター	200	100	200	200	200	900	1,300	
						個別			400			400		
	生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	[5教科7科目又は5教科8科目]		理 [化学基礎・化学 生物基礎・生物]	から1	センター	200	100	200	200	200	900	1,400	
						個別				500 (注2)		500		
				理 [物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学]	から1	センター	200	100	200	200	200	900	1,400	
						個別				500 (注2)		500		

【個別学力検査等】

(注1) 「数学B」の出題範囲は、「数列, ベクトル」とします。

(注2) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。

○「調査書」の評価は、5段階評価とし、総合判定の資料とします。

○大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。

ただし、「地歴」、「公民」については、第1解答科目の成績を用います。

※注記

国際園芸農学科においては、2年次に1週間程度の「海外研修入門(必修)」を行います。実習経費のうち、往復旅費、宿泊料等については、本学の規定の範囲内で大学負担しますが、諸経費等は個人負担となります。詳細については、入学後のオリエンテーションにおいて説明します。

なお、その他の学科においては選択科目となります。成績や学習意欲等に基づく面接により各学科5名を上限として、同様の経費負担で履修することができます。

Ⅱ 小論文

小論文を課す学部・課程等及び出題形式等

学部・課程		出題形式等
人文社会科学部	文化創生課程（後期）	<ul style="list-style-type: none"> 人間の営みや現代社会が直面している課題について、文章などの資料を提示して、それについての自身の意見を制限字数内で記述する。 (2問 各800字以内)
	社会経営課程（後期）	<ul style="list-style-type: none"> 文章などの資料が示していることを十分に理解したうえで設問に対して自分の考えを論理的に述べ、日本語の文章として適切な表現を用いていきること等を評価する。

Ⅲ 面接

面接を行う学部・学科等及び実施方法等

学部・学科等			実施方法等
教育学部	学員校養成課程 初教等教育中專等攻	小学校コース（後期）	複数の教員で受験者1人ずつの個人面接を行う。 1人当たり15分程度
医学部	医学科	（前期）	複数の教員で将来性、積極性、信頼感、自己統制、社会性を受験者1人ずつに問う面接を行う。 1人当たり15分程度 出願の際に提出された「自己推薦書」を面接の資料として使用する。

Ⅳ 出願書類

出願書類（調査書、志望理由書）の評価を行う学部等及び評価方法等

学部・学科等		評価方法等	
医学部	心理支援科学科（前期）	調査書	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、主に「行動力」を評価する。 ※「調査書」を提出できない場合は、「成績証明書等」により評価する。「成績証明書等」も提出できない場合は、「志望理由書」のみで評価する。
		志望理由書	志望理由、主な活動実績、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉学や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入する。（各項目300字程度） 本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「意欲」を評価する。

11 採点・評価基準、合否判定基準

人文社会科学部	<p>【前期日程・後期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験と個別学力検査の総合得点順に合格者を決定する。 合否判定に係る総得点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。 上記2においても同点の場合は、同点者を全て合格とする。
教育学部	<p>【前期日程・後期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点順に合格者を決定する。 合否判定に係る総得点が同点の場合は、個別学力検査等の得点の高い者を上位とする。 後期日程において、面接の得点が低いと不合格になることがある。 <p>(個人面接)</p> <p>質疑応答を通して、①自己表現能力、②教職への目的意識、③小学校教員としての資質・能力・適性、④小学校教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を把握し、「行動力」と「意欲」を複数の教員で評価する。</p>
医学部	<p>○医学科</p> <p>【前期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験の成績と個別学力検査、面接及び調査書の内容を総合して合格者を決定する。 合否判定に係る総得点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。 <p>(個人面接)</p> <p>提出された自己推薦書に基づき、将来性、積極性、信頼感、自己統制、社会性を問う個人面接（複数の面接員で1人の受験者を面接する方式）を行う。</p> <p>(調査書)</p> <p>学習成績概評等により評価する。</p>
医学部	<p>○保健学科</p> <p>【前期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各専攻とも、大学入試センター試験の成績と個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して成績上位者から順に合格者を決定する。 合否判定に係る総得点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。 <p>○心理支援科学科</p> <p>【前期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学入試センターの成績と個別学力検査の成績、出願書類（調査書、志望理由書）を評価した成績を総合して成績上位者から順に合格者を決定する。 合否判定に係る総得点が同点の場合は、個別学力検査、出願書類（調査書、志望理由書）の順序で得点の高い者を上位とする。 <p>(調査書)</p> <p>学習成績概評等により評価する。</p> <p>(志望理由書)</p> <p>志望理由、主な活動実績、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等に関する考え方等により評価する。</p>
理工学部	<p>【前期日程・後期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験の得点と個別学力検査の総得点順に合格者を決定する。 合否判定に係る総得点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。
農学生命科学部	<p>【前期日程・後期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験と個別学力検査の総得点順に合格者を決定する。 合否判定に係る総得点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。

12 試験時間割

前期日程

月日 (曜日)		2月25日 (火)				2月26日 (水)			
人文社会系 学部	文化創生課程	英語 9:00~10:30		国語 11:30~13:00					
	社会経営 課程	国語選択	英語 9:00~10:30		国語 11:30~13:00				
	数学選択	英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00					
教育 学 部	学校教育教員養成課程	小学校コース		英語 9:00~10:30	国語 11:30~13:00	理科 14:30~16:00			
		初等中学校コース			数学 11:30~13:00				
		国語専修		国語 11:30~13:00					
		社会専修		国語 11:30~13:00					
		数学専修		数学 11:30~13:00					
		理科専修					理科 14:30~16:00		
		技術専修					理科 14:30~16:00		
		家庭科専修		国語 11:30~13:00		理科 14:30~16:00			
		英語専修	英語 9:00~10:30						
医学 部	養護教諭養成課程						理科 14:30~16:00		
	医学		英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00	面接 8:30~17:00			
	保健 学 科	看護学専攻	英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00				
		放射線技術科学専攻	英語 9:00~10:30				理科 14:30~16:30		
		検査技術科学専攻	英語 9:00~10:30				理科 14:30~16:30		
	理 工 学 部	理学療法学専攻	英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00				
		作業療法学専攻	英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00				
		心理支援科学科	英語 9:00~10:30		国語 11:30~13:00				
農 学 部	数学選択			数学 11:30~13:00		数学 14:30~16:00			
	数学理科選択			数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00			
	物質創成化学科			数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00			
	地球環境防災学科			数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00			
	電子情報工学科			数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00			
	機械工学科			数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00			
自然エネルギー学科				数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00			
農 学 部	生物学					理科 14:30~16:00			
	分子生命科学					理科 14:30~16:00			
	食料資源学科					理科 14:30~16:00			
	国際園芸農学科					理科 14:30~16:00			
	地域環境工学科			数学 11:30~13:00					

注1) 面接の終了時間については、受験者数によって変更することがあります。

注2) 理工学部数物科学科(数学選択)の数学は、11:30~13:00と14:30~16:00の両方を受験してください。

後期日程

月日 (曜日) 学部・学科等		3月12日 (木)			
人文 社会科学部	文化創生課程	小論文 9:00~10:30		小論文 11:30~13:00	
	社会経営課程	小論文 9:00~10:30		小論文 11:30~13:00	
教育 学部	学校教育課程 教員養成等攻 初等教育中等教育等攻	小学校コース	面接 9:00~17:00		
理工 学部	数学科	数学選択	数学 9:00~10:30		
	学科	理科選択	理科 9:00~10:30		
	物質創成化学科	理科	9:00~10:30		
	地球環境防災学科	理科	9:00~10:30		
	電子情報工学科	理科	9:00~10:30		
	機械科学科	理科	9:00~10:30		
農 学生 命科学 部	自然エネルギー学科	理科	9:00~10:30		
	生物学科	理科	9:00~10:30		
	分子生命科学科	理科	9:00~10:30		
	食料資源学科	理科	9:00~10:30		
	国際園芸農学科	理科	9:00~10:30		
	地域環境工学科	理科	9:00~10:30		

注1) 面接の終了時間については、受験者数によって変更することがあります。

注2) 人文社会科学部の小論文は、9:00~10:30と11:30~13:00の両方を受験してください。

13 試 驗 場

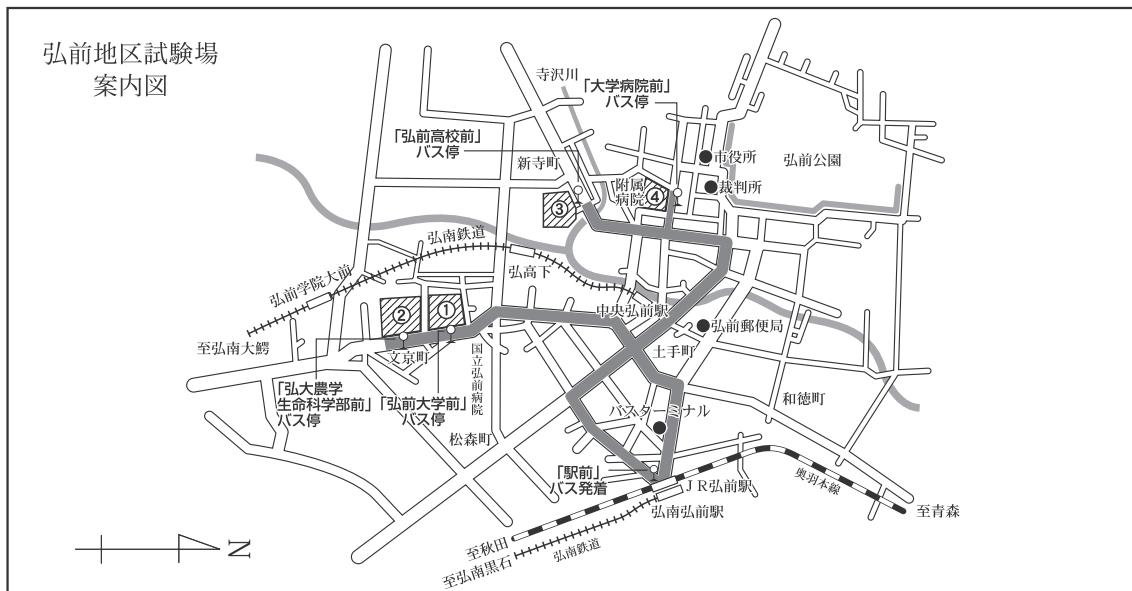
前期日程においては、受験者の利便性を考慮し、遠隔地にも試験場を設けて試験を実施します。各試験場において試験を実施する学部・学科等は、以下のとおりです。

なお、後期日程においては、全学部学科等とも弘前地区試験場のみとなります。

学部(学科)名	試験実施会場		
	弘前地区試験場	八戸地区試験場	札幌地区試験場
人文社会学部	○	○	○
教育学部	○	○	○
医学部 医学科	○	×	×
医学部 保健学科	○	○	○
医学部 心理支援科学科	○	○	○
理工学部	○	○	○
農学生命科学部	○	○	○

〔弘前地区試験場〕（前期日程・後期日程）

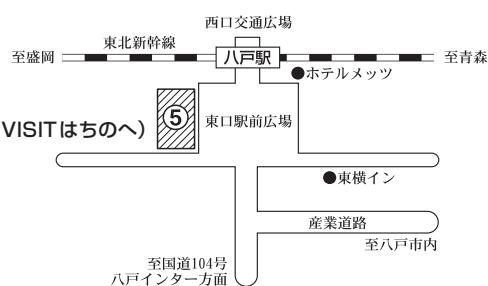
弘 前 地 区	志願学部	日程	試験場	所在地（交通案内・バス路線）	
	人文社会科学部	前期	① 弘前大学総合教育棟	青森県弘前市文京町1番地 ・徒歩 JR弘前駅から約15分 ・バス JR弘前駅前3番のりばから小栗山・狼森線、学園町線 「弘前大学前」下車	
		後期			
	教育学部	前期	① 弘前大学教育学部		
		後期			
	医学部 医学科	前期	③ 青森県立弘前高等学校	青森県弘前市新寺町1番1号 ・徒歩 JR弘前駅から約35分 ・バス JR弘前駅前8番のりばから金属団地線、桜ヶ丘線 「弘前高校前」下車	
	医学部 保健学科	前期			
	医学部 心理支援科学科	前期	④ 弘前大学医学部保健学科	青森県弘前市本町66番1号 ・徒歩 JR弘前駅から約35分 ・バス JR弘前駅前6番のりばから駒越線、茂森線 「大学病院前」下車	
	理工学部	前期 後期			
	農学生命科学部	前期 後期	② 弘前大学理工学部 ② 弘前大学農学生命科学部	青森県弘前市文京町3番地 ・徒歩 JR弘前駅から約20分 ・バス JR弘前駅前3番のりばから小栗山・狼森線、学園町線 「弘大農学生命科学部前」下車	



【八戸地区試験場】(前期日程のみ)

志願学部	日程	試験場	所在地(交通案内・バス路線)
八戸地区	前期	⑤ ユートリー (一般財団法人VISITはちのへ)	青森県八戸市一番町一丁目9番22号 ・JR八戸駅前

八戸地区試験場案内図



【札幌地区試験場】(前期日程のみ)

志願学部	日程	試験場	所在地(交通案内・バス路線)
札幌地区	前期	⑥ 札幌コンベンションセンター	北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 ・徒歩 地下鉄東西線東札幌駅 1番出口から約8分 ・バス 札幌駅ターミナル JRバス3番のりば 新札幌駅行き 「中央1条1丁目」 新札幌駅行き (コンベンションセンター経由) 新札幌ターミナル JRバス11番のりば JR札幌駅行き 「中央1条1丁目」 JR札幌駅行き (コンベンションセンター経由)

札幌地区試験場
案内図



(注) 1. 前期日程の試験地区は、志願者の希望に基づき受験票で指定しますので、指定された地区的試験場で受験してください。指定された地区試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。

(注) 2. 個別の特別な事情により八戸地区・札幌地区試験場での受験が認められない場合もあります。

(注) 3. 学外試験場となっているユートリー及び札幌コンベンションセンターへの問合せは、一切しないでください。

14 出願手続

(1) インターネット出願登録及び検定料等払込み期間

令和2年1月24日(金) 00:00～2月5日(水) 16:30

※インターネット出願の流れ（登録方法等）は22ページ～に記載しています。

※前期日程、後期日程、それぞれの日程ごとに出願登録及び検定料の払込みが必要です。

※インターネット出願登録、検定料の支払いだけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。

※ご自宅にインターネットや印刷の環境がない場合は、学校に相談してパソコン等を利用したり、公共図書館のインターネットサービスを利用する等により対応してください。

※インターネット出願の環境設定等について

パソコン等は下記の環境を推奨します。

〈プラウザ〉

- Microsoft Internet Explorer 11 以降
- Microsoft Edge 最新版
- Google Chrome 最新版
- Mozilla Firefox 最新版
- Apple Safari 8 以降

〈スマートフォン、タブレットのOS〉

- iOS 10.2 以降
- Android 4.4 以降

プリンター

写真データ等を印刷する必要がありますので、カラープリンターでの印刷を推奨します。

メールアドレス設定

- パソコンでも使用できるメールアドレスを推奨しています。
- 下記のドメインからのメールを受信できるようにしてください。
@e-apply.jp
- 出願時に登録したアドレスには、登録時のテスト、入力完了、検定料支払完了の際に自動送信メールが送信されます。また、出願に関するお知らせのメールを送付することがあります。

(2) 出願書類受付期間

令和2年1月27日(月)～2月5日(水) 17:00 (郵送必着)

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の平日9時～17時までに持参してください。

出願書類受付期間後に到着したものは受理しません。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

【送付先】

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部入試課

出願状況（志願者数、志願倍率）は次のWebサイトから確認できます。

URL : <https://daigakujc.jp/hirosaki-u/>

(3) 出願書類等

出願に必要な書類等は、下記のとおりです。

【事前に用意するもの】

- A 「1-2. 写真データ」, 「1-3. 令和2センター試験成績請求票」, 「2. 調査書等」, 「4. 封筒（角形2号）」
- B 「1. 自己推薦書」, 「2. 封筒（長形3号）」, 「3. 確約書」
- C 「3. 志望理由書」

【インターネット出願サイト上で用意・手続きするもの】

- A 「1-1. 志願票」, 「3. 入学検定料等」

出願書類等	摘要
A. 全志願者共通	
1. 志願票	<p>1-1. 志願票 インターネット出願サイトから必要事項を入力し、検定料払い込み完了後にA4サイズで印刷してください。</p> <p>1-2. 写真データ インターネット出願サイトで登録する際に、写真データをアップロードしてください。写真データは、カラー（10MBまで）、出願3ヶ月以内に撮影、上半身、脱帽、正面向きのものとします。</p> <p>1-3. 『令和2センター試験成績請求票』 「令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験票」下部の『令和2センター試験成績請求票』を所定の欄に貼付してください。 成績請求票は、「国公立前期日程用」と「国公立後期日程用」がありますので、貼り間違えないよう注意してください。</p>
2. 調査書等 (証明書はコピー不可)	<p>「調査書（厳封）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身学校（高等学校長等）が作成し、厳封した「調査書」を提出してください。 ・出身学校の事情（廃校、被災、文書保管期間の超過等の理由）により「調査書」を提出できない場合は、「卒業証明書（厳封不要）」及び「成績証明書（厳封）」又は単位修得証明書（厳封）」を提出してください。「成績証明書」等も提出できない場合は、その旨を書面（様式任意、自書・捺印）で申し出てください。 ・国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格又はGCEA資格取得者等は、「資格証書（写）」及び「成績証明書」等をもって「調査書」に代えることができます。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者も同様）にあっては「合格成績証明書」を提出してください。なお、一時期でも高等学校に在籍したことがある場合は、その期間の「調査書（厳封）」、「成績証明書（厳封）」、「単位修得証明書（厳封）」のいずれかを併せて提出してください。
3. 入学検定料等	<p>インターネット出願サイト登録後に表示される支払い手続き画面に従って、入学検定料等を支払ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 入学検定料： 17,000円 ■ 郵送料： 519円（成績開示希望者のみ29ページ参照） ※振込手数料は志願者負担となります。
4. 封筒 (出願書類提出用)	<p>角形2号（240mm×332mm）の封筒を各自用意してください。インターネット出願サイトから印刷した「宛名シート」を貼付し、必要書類を封入して郵送してください。 前期日程・後期日程ともに出願する場合は、封筒を2枚用意し、それぞれの必要書類を封入し、郵送してください。</p>
B. 医学部医学科 志願者	
1. 自己推薦書	インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし、A4サイズで 両面印刷 の上、志願者本人の自書により記載したものを提出してください。
2. 封筒 (第1段階選抜通知用)	長形3号（120mm×235mm）の封筒を各自用意し、宛先（志願者住所、氏名）を明記し 郵便切手（374円分） を貼付してください。 第1段階選抜の実施結果通知を2月12日（水）以降に発送します。
3. 確約書	「青森県定着枠」志願者のみ インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし、A4サイズで両面印刷の上、志願者及び保証人本人が該当欄に自書・捺印したものを提出してください。
C. 医学部心理支援科学科 志願者	
1. 志望理由書	インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft Excel版）をダウンロードし、直接入力したものを印刷して提出してください。（自書不可）

(4) 出願上の注意事項

- ① インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を支払期限までに支払い、出願に必要な書類を提出期間内に本学に届くよう送付する必要があります。
- ② 出願書類に、「令和2センター試験成績請求票」（前期日程提出者は、「国公立前期日程用」、後期日程提出者は「国公立後期日程用」）を貼り付けていない場合、または記載事項の記入漏れ、その他不備のあるものは受理しません。
- ③ インターネット出願手続完了後の入試区分・学部・学科等の変更は認めません。
- ④ 提出後の出願書類の内容変更等は認めません。ただし、住所等の連絡先が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑤ 提出受理後の出願書類は、いかなる理由があっても返却いたしません。
- ⑥ 他の国公立大学の推薦入試合格者及びAO入試合格者は、当該大学・学部の定める入学辞退手続きにより入学辞退を許可された場合を除いて、本学を受験しても入学許可は得られません。
- ⑦ 提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(5) 検定料等の返還

払い込み済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

1. 入学検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合
2. 入学検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合
3. 誤って入学検定料を二重に払い込んだ場合
4. 第1段階選抜（医学部医学科前期日程）の結果、不合格となった場合
5. 出願受付後に、大学入試センター試験の受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

上記のいずれかに該当する場合は、払い込み名義人本人からの申し出（本学の定める様式による）に基づき、口座振り込みにより返還します。

ただし、上記4もしくは5に該当する場合は、弘前大学学則第24条により、13,000円を返還します。なお、申し出に際しては、確認書類として、返還先口座の名義人と口座番号が記載された通帳等のコピーの提出も必要です。

令和2年4月1日から30日までを申し出の期間としますので、上記のいずれかに該当する場合は入試課までお問合せください。

なお、1.2.3.5に該当し、成績開示を希望していた場合は519円（郵送料）を合わせて返還します。

STEP
4



入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能



●店頭端末を利用して支払い可能



クラブステーション

Seicomart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン



店頭レジ

レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号(13桁)」を伝える

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストア



店頭レジ

レジで「オンライン決済」と伝える
「オンライン決済番号(11桁)」を伝える

ローソン ミニストップ



Loppi

「各種番号をお持ちの方」を選択
「お客様番号(11桁)」を入力
「マルチペイメントサービス」を選択
「確認番号(6桁)」入力
支払い内容確認

ファミリーマート



Famiポート

「代金支払い」を選択
「各種代金お支払い(マルチペイメントサービス)」を選択
「お客様番号(11桁)」入力
「確認番号(6桁)」入力
支払い内容確認

セイコーマート



クラブステーション

「インターネット受付各種代金お支払い」を選択
「オンライン決済番号(11桁)」を入力
支払い内容確認

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM



ペイジー対応銀行ATM

「現金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号(11桁)」入力
「確認番号(6桁)」入力
支払い内容確認

「お客様番号(11桁)」入力
「確認番号(6桁)」入力
支払い内容確認

「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
ご利用明細書を必ず受け取る

※振込手数料は志願者負担となります。クレジットカード900円、クレジットカード以外は650円です。

STEP 5

出願書類の郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

入学検定料の支払完了後、インターネット出願サイトから「志願票」と「宛名シート」を印刷し、その他の必要書類と併せて郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

必 要 書 類

※出願書類の詳細は、「募集要項」20ページで確認してください。

出願書類受付期間
前期日程・後期日程 共通
令和2年1月27日(月)～2月5日(水)
最終日 17:00 (郵送必着)
(インターネット出願登録期間)
令和2年1月24日(金) 00:00～2月5日(水) 16:30

送付先 〒036-8560
青森県弘前市文京町1番地
弘前大学学部入試課 TEL 0172-39-3122

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

前期日程、後期日程の両方に出願する場合は、それぞれ1通ずつ郵送してください。

「志願票」等の印刷方法

「出願内容の確認／志願票・受験票の印刷」ボタンより、受付番号、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、「志願票」、「宛名シート」の出力ができます。

出願時の注意点

STEP 5 の出願書類の郵送で出願完了となります、期限までに書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能ですが、出願書類の提出期限に間に合うよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 6

受験票の印刷

- 「受験票」及び「受験上の注意」は、インターネット出願サイトから各自A4用紙に印刷してください。※郵送はいたしません。
- 印刷は、**2月13日(木)(予定)**から可能になります。
- 「受験上の注意」は、熟読してください。

※試験当日は、印刷した「受験票」と「大学入試センター試験受験票」を忘れずに持参してください。



- インターネット出願では、インターネット出願サイトでの出願登録、検定料の支払いだけでは、出願は完了しません。出願に必要な書類が出願期間内に本学へ到着して、出願が完了します。
- ご家庭にインターネット利用や印刷の環境がない場合は、学校に相談してパソコン等を利用したり、公共図書館のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。

15 受験票の印刷

受験票は、2月13日（木）（予定）からインターネット出願サイトより印刷できるようになります。インターネット出願サイトにログインして印刷し、試験当日に持参してください。

また、試験当日の注意事項等を記した「受験上の注意」も同時に印刷して、内容を熟読してください。

なお、受験票は本学からは発送しませんので、必ず各自で印刷してください。

※医学部医学科で第1段階選抜を実施した場合は、志願者全員に「第1段階選抜結果通知書」を送付いたします。合格者は上記により受験票等を印刷してください。

〔受験票に関する注意事項〕

1. 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入試課へ2月17日（月）までに連絡してください。
2. 2月17日（月）になっても、受験票が印刷できない場合は、至急入試課へ連絡してください。
3. 実際に試験を受ける「試験場」を受験票に記載しますので、必ず確認し、間違えないように来場してください。受験票に記載の試験場以外では、いかなる理由があっても受験を認めません。
4. インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は、受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
5. 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。
6. 本学に併願した志願者は、前期日程と後期日程の受験票を間違えないように持参してください。

16 受験上の注意

1. 受験票に記載された試験場以外では受験できませんので、試験場を間違えないように注意してください。（各試験場までの交通案内は、17～18ページ参照）

2. 試験前日には、「試験場内案内図」、「受験番号ごとの試験室割振一覧」及び「その他の注意事項」等を各試験場の入口に掲示します。試験前日の午後1時から確認できます。

ただし、**医学部医学科及び八戸・札幌地区試験場**については、**前日の午後3時**から確認可能となります。

なお、各試験場とも試験前日は試験場内への立ち入りはできません。

3. 車両での試験場構内への乗り入れは禁止します。

4. 試験当日は、試験開始時刻の20分前までに入室してください。監督者による説明が始まります。（試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後20分以内に限り、受験を認めます。）

5. 試験当日は、本学が交付した**弘前大学受験票**及び**大学入試センター試験受験票**を必ず持参し、入場の際に係員に提示してください。

6. 着席中は、**弘前大学受験票**を必ず机上の受験番号の手前に置いてください。

また、席を離れる際には、**弘前大学受験票**及び**大学入試センター試験受験票**の両方を必ず持参して、提示を求められた際にはすぐに対応できるようにしてください。

7. 医学部医学科の受験者は、上履きを持参してください。(試験会場の弘前高等学校は土足厳禁です。)

8. 筆記試験時間中、机の上に置けるものは、**受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル**(黒い芯に限る)、**消しゴム、鉛筆削り**(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)、**時計**(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く)、**眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー**(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)、**目薬**です。

9. 試験時間中、**使用すると不正行為となるものは、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具、電子辞書、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、ICレコーダー等の電子機器類**です。

10. 試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は、**試験場に入る前に電源を切り、カバン等に入れて保管してください(身につけないこと)**。試験中に音を出した場合は、不正行為とみなされることがあります。(時計の代用としても認めません。)

11. 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

12. 不正行為

① 次のことを行うと不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で試験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績は無効となります。

- ア 出願書類や解答用紙に故意に虚偽の記入をすること
- イ カンニングすること
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること
- エ 試験時間中に問題冊子を試験室から持ち出すこと
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと
- カ 「解答はじめ」の指示の前に問題冊子を開いたり、解答を始めること
- キ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること
- ク 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること
- ケ 「解答やめ」の指示に従わず解答を続けること

② 上記①以外にも次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず不正行為と認定された場合の取り扱いは、上記①と同様です。

- ア 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をカバンにしまわず、身につけていたり手に持っていた場合
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音を長時間鳴らすなど、試験の進行を妨げた場合
- ウ 試験場において他の受験者に迷惑となる行為をすること
- エ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- オ その他試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること

入学試験にかかる感染症対応について

本学では入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘など）に罹患して治癒していない場合は、受験できません。この場合追・再試験や別室受験等の特別措置および入学検定料の返還はおこないません。万全の態勢で試験当日を迎えるよう、体調管理には十分ご注意ください。

17 合格者の発表

合 格 者 発 表 日		発 表 方 法
前 期	令和2年3月6日（金） (予定)	<ul style="list-style-type: none">・本学大学会館前掲示場で発表（※）・Webサイト (https://daigakujc.jp/hirosaki-u/) 上で発表 
後 期	令和2年3月20日（金） (予定)	<ul style="list-style-type: none">・Webサイト (https://daigakujc.jp/hirosaki-u/) 上で発表 <p><u>大学会館前での掲示発表は行いません。</u></p> 

（※）自家用車の構内への乗り入れはできませんので、公共交通機関をご利用ください。

- （1）Webサイトに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うものであり、合格通知書をもって正式な通知とします。また、電話等による合否の問合せには一切応じません。
- （2）合格発表後速やかに合格者に対し、合格通知書及び入学手続書類一式を速達郵便で送付します。
なお、合格通知書の到着には、地域にもよりますが、合格発表後2～3日かかる場合があります。

18 入学手続

(1) 入学手続の方法

入学試験に合格した者は必要書類一式を本学に、「郵送」(書留速達、郵送先は入試課)又は「持参」することにより、入学手続を行ってください。

期日に手続を完了しない者は、**入学を辞退**したものとして取り扱います。

詳細(持参の場合の手続場所等)は合格通知の際にお知らせします。

	郵送の場合	持参の場合
前期日程	令和2年3月6日(金)から 令和2年3月14日(土) 午後5時必着	令和2年3月15日(日) 午前9時から午後4時
後期日程	令和2年3月20日(金)から 令和2年3月26日(木) 午後5時必着	令和2年3月27日(金) 午前9時から午後4時

(2) 入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。

① 合格通知書	合格発表時に送付します。
② 大学入試センター試験受験票	試験後も大切に保管しておいてください。
③ 誓約・保証書	合格通知の際に本学所定用紙を送付します。2人分の印鑑(本人と保証人の分)が必要になります。
④ 入学料 282,000円(予定)	合格通知の際に、本学所定の振込用紙を送付します。 銀行窓口での納付となります。

※ 医学部医学科合格者は①～④のほか、下記⑤、⑥の提出が必要です。

⑤ 健康リスクに関する承諾書(所定用紙)全員

⑥ 誓約書(所定用紙)青森県定着枠合格者

※ 授業料は、年額535,800円(前期分267,900円 後期分267,900円)(予定)になります。納付期限は、前期分5月31日、後期分10月31日となっておりますが、本学では、前期分授業料を入学手続時に納付いただくようお願いしております。(前・後期分の一括納付もできます。)上記「④入学料」と併せて、本学所定の振込用紙により納付できます。

※ 入学時までに入学料及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。
また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 入学料及び授業料の免除・徴収猶予については、**30ページ「22入学料及び授業料の免除・徴収猶予を希望される方へのお知らせ」**をご覧ください。

(3) 入学手続に関する注意事項

- ① 本学に入学手続を行った者は、他の国公立大学・学部に入学手続きを行うことはできません。また、他の国公立大学・学部において入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学することはできません。
- ② 本学の前期日程合格者で入学手続を行った者は、後期日程試験を受験しても合格者となることはできません。
- ③ 本学のAO入試合格者で入学手続を行った者は、前期日程及び後期日程試験を受験しても合格者となることはできません。
- ④ 入学手続完了者が、諸事情により入学を辞退することとなった場合には、速やかに入試課まで連絡してください。[電話番号 0172-39-3122]

- ⑤ 令和2年3月31日（火）午後5時までに入学を辞退した場合には、申し出により、納付した「授業料」相当額を返還します。ただし、納付した「入学料」については、いかなる理由があっても返還しません。

19 追加合格者

合格者の入学辞退等により入学定員に欠員が生じた場合は、追加して合格者を決定することがあります。この合格者の決定は、追加合格候補者に該当する受験者本人に直接連絡し、入学する意志を確認した者について行います。（追加合格候補者は発表しません）

① 連絡・確認の時期

令和2年3月28日（土）から3月31日（火）までの間に行います。

② 連絡・確認の方法

電話で本人あて（登録済の電話番号）に行います。

代理は認められません。

③ 追加合格者の入学手続等

追加合格を決定した際に連絡します。

20 入学試験個人成績の開示

令和2年度入学試験における個人成績を以下のように開示します。

	大学入試センター試験	個別学力検査等	調査書
開示の対象となる成績情報等	大学入試センター試験の結果に関しては、選考で使用した傾斜配点後の得点を科目別に開示します。	個別学力検査結果に関しては、試験科目毎に得点を開示します。 なお、得点調整が行われた場合は調整後の点数で開示します。	「7. 指導上参考となる諸事項」「8. 総合的な学習の時間の内容・評価」「9. 備考」欄を除いて開示します。
申請・開示の方法	<p>【申請】 出願の際にインターネット出願サイトにおいて希望の有無を選択してください。</p> <p>成績開示を希望する場合は、519円分の郵送料を入学検定料と併せてお支払いください。（17,000円（入学検定料）+519円（郵送料））</p> <p>出願時に成績開示を希望しなかった場合は、成績開示はできません。</p> <p>【開示】 出願時に開示を希望した志願者に、個人成績通知書を書留郵便で送付します。送付先はインターネット出願サイトで登録した志願者連絡先住所となります。</p>	<p>【申請】 下記の開示期間に、受験者本人が弘前大学受験票を持参し、窓口で申請してください。代理人による申請はできません。また、弘前大学受験票がない場合は開示できません。</p> <p>【開示】 窓口閲覧のみとし、<u>請求日の2日後以降に開示します。</u></p> <p>（申請・開示する場所） 人文社会学部、教育学部、理工学部、農学生命科学部：学務部入試課 医学部医学科：医学研究科学務グループ 医学部保健学科：保健学研究科学務グループ</p>	
開示期間	令和2年5月中に発送します。	令和2年5月7日（木）から5月29日（金）まで (土曜・日曜・祝日を除く。) 開示時間は9:00～17:00までとします。	

21 個人情報の取扱いについて

(1) 利用目的

志願者から提出いただきました個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用させていただきます。

- ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③その他、教育・研究に関すること。

(2) 国公立大学間の情報提供

国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験受験番号）を大学入試センター及び併願先国公立大学へ提供します。

(3) 第三者への提供

入学後の学生生活支援等のため、志願者の請求に基づき、弘前大学と業務委託契約を締結している弘前大学生活協同組合から資料（新生活サポート、教科書教材、アパート等の情報パンフレット）を送付します。

資料請求を希望する方の同意がある場合に限り、弘前大学生活協同組合へ個人情報（氏名、住所、電話番号、受験番号）を提供します。同意の有無については、インターネット出願時に確認いたします。

22 入学料及び授業料の免除・徴収猶予を希望される方へのお知らせ

〈日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者の方」へ〉

日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者の方」は、本学への入学手続きの際に入学料及び授業料の減免を申請することにより、入学料及び令和2年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

なお、減免申請手続きの詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

〈日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申込む方へ〉

日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用」に申込まなかった方も、本学入学後に同機構の給付奨学生の「在学採用」に申込み、給付奨学生に採用された場合は、入学料及び令和2年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

なお、一連の手続きに関する詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

注) 日本学生支援機構の給付奨学生に申込むためには、「国籍に関する要件」や「大学等に進学するまでの期間に関する要件」など、いくつかの要件をすべて満たしている必要があります。については、日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申込む方は、本学ホームページの「受験生の方へ」→「入学料・授業料免除の申請」に記載されている関連リンク先を参照の上、**「在学採用」の申込み要件を満たしているか否かを必ず確認してください。**

〈重要事項説明〉

日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者の方」も、同機構の「在学採用」に申込む方も、本学から「授業料等減免認定結果通知書」が届くまでは、**絶対に、入学料及び令和2年度前期授業料を支払わないでください。**

本学から送付される「授業料等減免認定結果通知書」を受け取る前に、入学料もしくは令和2年度前期授業料を**支払ってしまった場合、入学料及び授業料の減免申請は無効**となりますので、十分に注意してください。

〈問合せ先〉

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課 生活支援グループ
電話：0172-39-3117
時間：平日 9:00～17:00

23 学生寮への入寮を希望される方へのお知らせ

入寮を希望する場合は、事前に「入寮希望調書」等を提出する必要があります。

以下の方法により必要書類を取り寄せ、期日までに提出してください。（受験区分によつては、入学試験日・合格発表日よりも前に受付期間が設けられている場合がありますので、ご注意願います）

(1) 必要書類の請求方法

① 郵送により請求する場合

- ・往信用封筒の表に「入寮案内請求」と朱書きしてください。
- ・往信用封筒の裏に「住所」、「氏名」を記入してください。
- ・返信用封筒（長形3号、返信先住所・宛名記入、切手94円分貼付）を同封してください。

② 弘前大学ホームページから取得する場合

- ・所定の様式等をダウンロードしてください。

③ 入寮案内等の発送並びにダウンロード開始は、令和元年11月20日（水）からです。

(2) 資料の請求先（入寮に関するお問合せもこちらまで）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部学生課 学生支援グループ
電話 0172-39-3107

(3) 入寮希望調書等の受付期間（最終日午後5時必着）

【前期日程・後期日程】

- ・令和2年2月3日（月）～令和2年2月14日（金）

24 各学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

人文社会科学部

1) 人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視した教育カリキュラムを提供することによって、地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力、地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い、社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- ・人文科学と社会科学の諸領域（考古学、歴史学、文学、哲学、法学、経済学、経営学、社会学等）にかかわる専門知識・技能等を習得するための基礎学力
- ・学んだ専門知識・技能を文化の振興や社会の発展に役立てるための行動力
- ・人間文化の発展に貢献することや現代社会が直面する複雑な問題を解決することへの意欲

また、人文社会科学部の各課程は、それぞれ次のような学生を求めます。

【文化創生課程】

- ・地域社会の発展のために、地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等の活動を担っていけるような行動力のある人
- ・国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと、深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人

【社会経営課程】

- ・地域社会の発展のために、自治体の政策立案や地域産業の育成、地域住民との協働による問題解決等に貢献していくことができるような行動力のある人
- ・少子高齢化や人口減少、経済・産業基盤の変化等、現代社会が直面する諸課題を解決することに意欲的である人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- ・教科・科目の学習を通して、歴史文化や社会に関する基礎知識をはじめ、論理的思考力・情報処理能力、コミュニケーション能力等を身につけておく必要があります。
- ・グループ学習等の体験型学習を通して、自分自身の考えを積極的に発信していく力や学習に主体的に参加する姿勢を身につけておく必要があります。
- ・物事を多面的に理解し、複雑化した問題を的確に分析する力を養うために、国内外の様々な問題に広く関心を持つ姿勢や、多様な分野の学習に積極的に取り組む姿勢を身につけておく必要があります。

3) 入学者選抜の基本方針

人文社会科学部では、人文社会科学分野の人材として育つにふさわしい学力・行動力・意欲を有する学生を選抜する目的で、多面的・総合的な評価方法により、別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般入試 (前期)	センター試験	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	◎		
	個別学力検査				
一般入試 (後期)	センター試験	高等学校修了レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	◎		
	小論文				
AO入試・I	小論文	本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○	◎	◎
	個人面接				
	学習計画書				
	調査書				

注) 配点により評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

注) 一般・前期、後期では、調査書の評価を5段階評価とし、総合判定の資料とする。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・後期	人間の営みや現代社会が直面している課題等について、文献等の資料を提示し自身の意見を論述させる。 資料が示していることを十分に理解しているか、設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価する。
	AO・I	一つのテーマについて論述させる。 設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価する。
個人面接	AO・I	自己PR、志望理由と入学後の学習計画、大学卒業後の進路等について口頭発表させ、発表内容に関する質疑応答を行う。 アドミッション・ポリシーを念頭に置いた志望課程への関心と意欲が高いか、大学入学後の学習計画と将来への見通しについては明確か、質疑応答が的確になされているか等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価する。
学習計画書	AO・I	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉学や様々な活動を通して得た経験を元に記述させる。 アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているか、志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか、将来の進路希望は明確か等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価する。
調査書	AO・I	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・各種の資格等の取得等を判断基準として、「行動力」を評価する。

教 学 部

1) 教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- ・将来、教員になるための素養と、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- ・自立した個人として、または多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していこうとする行動力
- ・教育者を目指して知的・人格的に成長していこうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻】

- ・小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- ・将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

- ・障害等の特別な教育的ニーズを教育、心理、病理などの多方面から理解し支援するために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- ・将来、特別支援学校等の教員として、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

【養護教諭養成課程】

- ・養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- ・子どもの健康に高い関心を持ち、将来、養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- ・高等学校で履修する教科・科目の基礎的理解だけでなく、取得する教員免許に則した深い学び、課題の把握とその解決に向けたプロセスをわかりやすく表現や説明できる力を習得しておくことが必要です。
- ・将来、教員として同僚や児童・生徒、保護者とのコミュニケーションを円滑に育めるように、課外活動やボランティア活動など、多様な人々と積極的に関わっていく主体的な経験が望まれます。
- ・日頃から社会情勢や教育問題に対して関心を持ち、困難な問題にも安易にあきらめることなく乗り越えるための努力を惜しまない姿勢と、自己を高める継続的な向上心を身につけておくことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

教育学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般入試 (前期)	小学校コース、中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修除く）、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程	教員として必要な高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎		
	センター試験				
	個別学力検査				
一般入試 (後期)	小学校コース	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価すると共に、小学校教員としての資質・能力・適性、教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	センター試験				
	個人面接				
AO入試・I	中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修）	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な、音楽と美術、保健体育に関する基礎的な技能と知識、教員としての資質・適性、教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	実技試験				
	個人面接				
	出願書類（スポーツ競技歴等が分かる資料・調査書） 保健体育専修のみ	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な、教員としての資質・能力・適性、教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	◎	◎
	特別支援教育専攻、養護教諭養成課程				
	集団討論				
	個人面接				
AO入試・II	出願書類（自己PR書・活動報告書・調査書）				
	小学校コース	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な、小学校教員としての資質・能力・適性、教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価すると共に、高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	小論文				
	個人面接				
	集団討論				
	出願書類（自己PR書・活動報告書・調査書）				

注) 配点により評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

注) 一般入試では「調査書」の評価を5段階評価とし、総合判定の資料とする。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
実技試験	AO・I	中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修） 事前に提示した課題または運動種目について実技試験を行う。 基本的な能力・技術等を把握し、音楽・美術・保健体育の教員として必要な「学力」を評価する。 音楽専修においては、演奏楽曲に関する知識等に関する口頭試問も含む。
小論文	AO・II	小学校コース 広い意味での教育に関する課題について自身の考えを記述させる。 ①内容（出題の意図を的確にとらえ、自分なりの考えを明確に主張しているか等）、②表現（文章の論理構成、適切な日本語、文字の表記、字数の過不足）により、「学力」と「意欲」を評価する。
集団討論	AO・I	小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程 与えられたテーマについてグループで討論を行う。 討論を通して、①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力、②発言内容、③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価する。
	AO・II	
個人面接	一般・後期	
	AO・I	質疑応答等を通して、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての資質・能力・適性、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し、「行動力」と「意欲」を評価する。
	AO・II	AO・Iの保健体育専修においては、保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い、「学力」も評価する。
自己PR書	AO・I	小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程 志望理由を含めた自己PR書を、自由な形式で作成する。 ①教職への目的意識、②教員としての適性・資質・能力、③教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し、「行動力」と「意欲」を評価する。
	AO・II	
活動報告書	AO・I	小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程 当該コース・専攻・課程に関連する学校・家庭・地域での体験を記載した活動報告書を、自由な形式で作成する。 課外活動やボランティア活動など、多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動内容から「行動力」と「意欲」を評価する。
	AO・II	
スポーツ競技歴等が分かる資料	AO・I	中学校コース（保健体育専修） 校内外における体育活動並びにスポーツ活動についての競技成績が分かる資料の内容（専門種目に対する取り組み）を把握し、「行動力」と「意欲」を評価する。
調査書	AO・I	高等学校での教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校内外での活動、各種の資格・免許取得などにより、「行動力」「意欲」を評価する。
	AO・II	

医学部医学科

1) 医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では、豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- ・医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- ・他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践していく行動力
- ・生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組み、知的・人格的に成長していく意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- ・医学を修めるために、理系科目だけでなく、英語や文系科目もしっかりと履修し、応用力を伴った総合的学力を身につけておくことが必要です。
- ・将来、様々な医療職と連携し、多様なニーズに対応できる医療を実践するためには、コミュニケーション能力と協調性を身につけておくことが必要です。
- ・医学・医療を取り巻く社会問題や地域の動向に关心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を身につけておくことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部医学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般入試 (前期)	センター試験	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	個人面接				
AO入試・II	模擬講義に関する筆記試験	本学科の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価する観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	◎	○
	ケーススタディの自学自習				
	ワークショップ				
	個人面接				
	調査書				
学士編入学 (第2年次)	TOEFL	修業年限4年以上の大学卒業レベルの学習の達成度及びさまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	基礎自然科学・数学				
	個人面接				

注) 配点により評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

注) 一般入試(前期)では、調査書の評価を5段階評価とし、総合判定の資料とする。

注) すべての選抜において、自己推薦書は個人面接の参考資料とする。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
個人面接	一般・前期	事前に提出される「自己推薦書」を資料に用いて、志望理由、医療に対する関心、卒業後の進路等について、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	AO・II	
	学士編入学	
模擬講義に関する筆記試験	AO・II	模擬講義を行い、講義内容に関する筆記試験を通して、理解能力・基礎的知識等の「学力」を評価する。
ケーススタディの自学自習	AO・II	与えられたシナリオ及び資料を読み、自身の考えを論述させる。読解力、日本語の文章力、論理的な表現力を通して、「学力」を評価する。
ワークショップ	AO・II	与えられたテーマについて、グループで問題を解く。コミュニケーション能力、協調性、積極性等により、「行動力」、「意欲」を評価する。
TOEFL	学士編入学	英語について、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価する。
基礎自然科学・数学	学士編入学	物理・化学・生物・数学の筆記試験を通して、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価する。
調査書	AO・II	高等学校での科目の履修状況、出席状況、教科外活動の状況、ボランティア活動などにより、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価する。

医学部保健学科

1) 医学部保健学科が求める学生像

医学部保健学科では、保健医療の高度な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と問題解決能力を備え、創造性、独創性と国際的視野を有し、社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- ・保健医療専門職となるための学修に必要な基礎的学力
- ・将来、他の医療職者と協調しながら保健医療活動を実践するための行動力
- ・向上心と研究心を基に、保健医療の実践者として社会に貢献する強い意欲

また、医学部保健学科の各専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【看護学専攻】

- ・人間や生命、健康に关心を持ち、看護専門職者として知的・人格的に成長しようとする意欲のある人
- ・人間の尊厳を重んじ、人や社会、文化の多様性を認め、人と良好な関係を築くことができる人

【放射線技術科学専攻】

- ・診療放射線技師専門職となるための学修に必要な学力を有し、特に理系の科目をしっかりと履修した人
- ・チーム医療の一員として積極的にコミュニケーションを図り、他の医療技術者と互いに協力し合い、より良い医療を提供するための行動力のある人
- ・医療を安全に行う能力を有し、生涯にわたり向上心・探究心を持ち続け、知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【検査技術科学専攻】

- ・医療従事者としての自覚とチーム医療遂行のための協調性を持ち、鋭い観察力と洞察力ならびに応用力を備えて保健医療の発展のために積極的に行動できる人
- ・自然科学、保健医療、臨床検査に強い関心を持ち、検査職を通して人々の健康維持・増進に積極的に取り組む意欲のある人

【理学療法学専攻】

- ・他者と適切な関係を築きながら、様々な人たちと協働して、障害者等が抱える問題の解決に取り組む行動力を有する人
- ・理学療法士として向上心・研究心を持って保健医療に取り組み、障害者等のリハビリテーションに貢献したいという強い意欲のある人

【作業療法学専攻】

- ・作業療法の対象者の個別の価値観や生活を尊重し、対象者の希望に沿った作業活動を考えつつ実践するための行動力のある人
- ・チーム医療の一員として、他職種を尊重しながら、作業療法を積極的に実行する意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- ・医療従事者は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- ・チーム医療の一員として医療にかかわることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望されます。
- ・研究心や探求心などに基づき、様々なことにかかわる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部保健学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般入試 (前期)	センター試験	高等学校修了レベルの学力と強い意欲・行動力のある人を選抜する目的で、「学力」に重点を置いて選抜します。	◎		
	個別学力検査				
AO入試・II	センター試験	高等学校修了レベルの学力と強い意欲・行動力のある人を選抜する目的で、「学力」、「行動力」、「意欲」のすべてに重点を置いて選抜します。	◎	◎	◎
	小論文				
	個人面接				
	自己PR書				
	調査書				
編入学入試 (第3年次)	学力検査	専門教育についての学習に強い意欲と行動力を有する人を選抜する目的で、「学力」、「行動力」、「意欲」のすべてに重点を置いて選抜します。	◎	◎	◎
	小論文				
	個人面接				
	成績証明書				

注) 配点により評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

注) 一般・前期では、調査書の評価を5段階評価とし、総合判定の資料とする。

注) 編入学試験では、志望理由書は面接の基礎資料とする。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	AO・II	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。
	編入学	日本語の文章力、論理的な表現力の観点から、「学力」を評価します。
個人面接	AO・II	自己PR、志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路、高等学校での学習や課外活動等について質疑応答を行います。
	編入学	志望理由、専門分野に関する興味関心について等の質疑応答の内容から「意欲」、課外活動・ボランティア活動についての質疑応答の内容から「行動力」を評価します。
学力検査	編入学	英語の基礎学力を問う問題に解答させます。 英文化和訳においては英語の文章の読解力と日本語の表現力を評価します。
自己PR書	AO・II	志望理由、主な活動実績について、これまでの学習や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価します。
調査書	AO・II	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。
成績証明書	編入学	専門職に必要とされる専門教育科目履修状況を評価し、入学資格の判定に利用します。

医学部心理支援科学科

1) 医学部心理支援科学科が求める学生像

医学部心理支援科学科では、科学的思考力を有し、こころの問題を感受し、その問題を解決できる能力や生命に対する高い倫理性と豊かな人間性を有し、悩める人に寄り添い、心理支援職としての役割を通して地域住民の健康と福祉に寄与し、社会に貢献する地域のリーダーとなる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- ・心理支援職としての知識と技術を修得するのに必要な基礎学力
- ・他職種と連携しチームの一員として心理支援活動を実践するための行動力
- ・社会問題や地域の動向に关心をもち、心理支援職として社会に貢献する強い意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- ・心理支援職は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- ・他職種と連携しチームの一員として心理支援業務にかかわることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望されます。
- ・幅広い研究心や探求心などに基づき、社会問題や地域の動向に关心を持ち、自ら積極的にかかわる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部心理支援科学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学 力	行 動 力	意 欲
一般入試 (前期)	センター試験	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、知識・理解力・思考力・判断力・表現力について、センター試験と個別学力検査により評価します。また、「意欲」、「行動力」については、志望理由書及び調査書により評価します。これらの結果を総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	志望理由書				
	調査書				

注) 配点により評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
志望理由書	一般・前期	志望理由、主な活動実績、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉学や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「意欲」を評価します。
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、主に「行動力」を評価します。

理 工 学 部

1) 理工学部が求める学生像

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養う教育カリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探求する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- ・専門教育の基礎となる理数系の学力、および社会の中で専門的能力を活かすための基礎学力
- ・高等学校までに学習すべき課題に真摯に取り組むとともに、自らの個性や資質に合わせてその他の活動にも積極的に参加し、自らを成長させていく行動力
- ・専門を生かして新たな課題を見いだし、解決するために学び続ける意欲

また、理工学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【数物科学科】

(数学型)

- ・数理科学への強い興味を持ち、数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・探究心が旺盛で豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって社会に貢献する意欲のある人

(物理型)

- ・自然の基本原理に興味を持ち、物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・物質を構成しその性質を決定している量子の世界から広大な宇宙の世界までを支配している自然の基本原理を理解し、より深く探求することやその成果を社会へ還元することに意欲のある人

【物質創成化学科】

- ・化学物質の構造や化学反応のしくみを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち、化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・自ら課題を見いだし、暮らしを豊かにする機能性物質や環境調和を指向した機能性材料を創成し、リサイクル、省資源、エネルギー創成技術等に関する諸課題を解決するための研究開発に意欲のある人

【地球環境防災学科】

- ・宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人
- ・自ら課題を見いだし、地球に関する科学の深化や、地球環境問題の解決、自然災害の防止に貢献することに意欲のある人

【電子情報工学科】

- ・電子回路、電子材料、コンピュータとソフトウェア、通信ネットワーク、セキュリティ、組込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・電子情報工学の発展に強い関心を持ち、学んだことの成果を社会の様々な分野で活用することに意欲のある人

【機械科学科】

- ・医用・福祉、環境・エネルギー、航空宇宙、輸送機械、ロボット、AI、ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・ものづくりに関する科学技術の発展に強い関心を持ち、失敗を恐れず継続してものごとに取り組み、学んだことの成果を社会の様々な領域で活用することに意欲のある人

【自然エネルギー学科】

- ・自然や人間社会に深い興味を持ち、自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・地域に存在する自然エネルギー源を利用することや、その活用に意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- ・理工学分野の学問を学ぶために必要な力として、論理的思考力、自然科学に関する基礎知識、表現やコミュニケーションの能力を身につけておくことが必要です。
- ・自ら課題を探求し、主体的に取り組む学習態度、新しい発見や創造的な活動に取り組むための行動力が必要です。また、他者と協働して学習や研究などに取り組むことができる行動力や学習態度が必要です。
- ・困難な課題に対しても安易にあきらめることなく取り組み、やり遂げようとする意欲を持ち続けることが必要です。また、自然界の仕組みや社会を支える技術について日頃から興味を持ち、学習に自発的に取り組む態度が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

理工学部では、前記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により、別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般入試 (前期)	センター試験	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎		
	個別学力検査				
一般入試 (後期)	センター試験	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎		
	個別学力検査				
AO入試 ・ I	講義の実施とその内容に関するレポート	本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	個人面接（基礎学力に関する試問を含む）				
	出願書類（自己推薦書・調査書）				
編入学入試 (第3年次) 推薦	志望理由書	本学部の教育カリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	推薦書				
	調査書又は成績証明書				
	個人面接（口頭試問を含む）				
編入学入試 (第3年次) 一般	志望理由書	本学部の教育カリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	調査書又は成績証明書				

注) 配点により評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
個人面接	AO・I	基礎学力に関する試問、または口頭試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるのに必要な「学力」を評価します。また、志望動機、入学後の履修計画、卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により、「意欲」および「行動力」を評価します。
	編入学	
講義の実施とその内容に関するレポート	AO・I	学部において実施する講義に、能動的に対応するために必要な「学力」および「行動力」を評価します。
出願書類（自己推薦書・調査書）	AO・I	自己アピールの内容、および志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から、主として「意欲」に関する評価を行います。また、これまでの学習や課外活動に対する取組状況から主として「行動力」に関する評価を行います。
志望理由書	編入学	志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から、「意欲」に関する評価を行います。
推薦書	編入学	これまでの学習に対する取組や学習意欲に関する客観評価から、「意欲」および「行動力」の評価を行います。
調査書又は成績証明書	編入学	これまでの学習に対する取組状況から、「行動力」の評価を行います。また、3年次以降の履修に対応する能力についても評価します。

農学生命科学部

1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけ、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- ・入学後に修める教養教育や、農学および生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力（高等学校の教科全般、特に理科、英語、数学）
- ・農学および生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- ・農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【生物学科】

- ・生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたる様々な基礎的知識や応用的知識を、実社会への参画をみすえ、積極的に身につけようとする行動力を持つ人
- ・生物学に強い興味を持ち、動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象のしくみや生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】

- ・分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業（例えば、医薬品、食品、化学工業など）および学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- ・生命現象のしくみや機能に興味を持ち、高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し、さらに追求する意欲のある人

【食料資源学科】

- ・バイオテクノロジー、食品科学、作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ、これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
- ・学びの中から様々な課題を自ら見出し、解決する力を養い、学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

【国際園芸農学科】

- ・地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- ・農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- ・食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

【地域環境工学科】

- ・自立した農業土木技術者として、社会的責任を自覚し、自主的継続的に学修し、多様な人々と協働し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- ・数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け、水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- ・農学および生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけではなく、論理的思考力、読解力、記述能力などの修得が必要です。
- ・自分自身の考えを持ち、さまざまな課題に立ち向かい、解決する行動力を身につけておくことが必要です。
- ・実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般入試 (前期)	センター試験	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎		
	個別学力検査				
一般入試 (後期)	センター試験	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎		
	個別学力検査				
AO入試・I	自己PR書	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	調査書				
	小論文				
	個人面接				
AO入試・II	センター試験	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。また、基礎学力をより適正に判断するため、センター試験の成績を選抜に用います。	○	○	○
	自己PR書				
	調査書				
	個人面接				
編入学入試 (第3年次)	小論文	本学部で専門教育を受けるために必要な「学力」、「行動力」、「意欲」を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個人面接				
	編入学願				
	成績証明書				

注) 配点により評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

注) 一般入試では、調査書の評価を5段階評価とし、総合判定の資料とする。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	AO・I	農学や生命科学などに関連する、いくつかのテーマについて論述させる。論理的思考力、読解力、記述能力などを有しているかどうかを精査することにより、「学力」を評価する。
	編入学	
個人面接	AO・I	志望理由、興味・関心がある研究分野などについて、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価する。また、面接の過程で、口頭試問を行うことにより、「学力」を評価する。編入学入試では「学力」を重視するため、より専門学的な内容の口頭試問を行うことがある。
	AO・II	
	編入学	
自己PR書	AO・I	自己PR、志望理由、将来への展望などについて、これまでの勉学や様々な活動を通して得た経験を基に記入する。本学部に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	AO・II	
調査書	AO・I	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	AO・II	
編入学願	編入学	本学部に対する理解、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績を精査することにより、各学科での教育研究内容に関連する「学力」を評価する。

問合せ先一覧

■弘前大学の問合せ先

内 容	担 当	連絡先
入学試験全般に関すること	学務部入試課	0172-39-3122
検定料の支払い及び返還に関すること		FAX 0172-39-3125
入学手続に関すること		
入学期料免除（徴収猶予）、 授業料免除等に関すること	学務部学生課	0172-39-3117
奨学金に関すること		
学生寮に関すること		0172-39-3107
授業料の口座振替に関すること	財務部財務管理課	0172-39-3043

※平日 8:30～17:00（年末年始を除く。）ただし、学生課は 9:00～17:00

※電話による問合せは、やむを得ない場合を除き、志願者本人が行ってください。

※医学部の受験に関しては、問合せの内容によって学部へつなぎ直しをすることがあります。

■インターネット出願サイトに関する問合せ先

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター (運用会社：株式会社ディスコ)	0120-202079
--	-------------

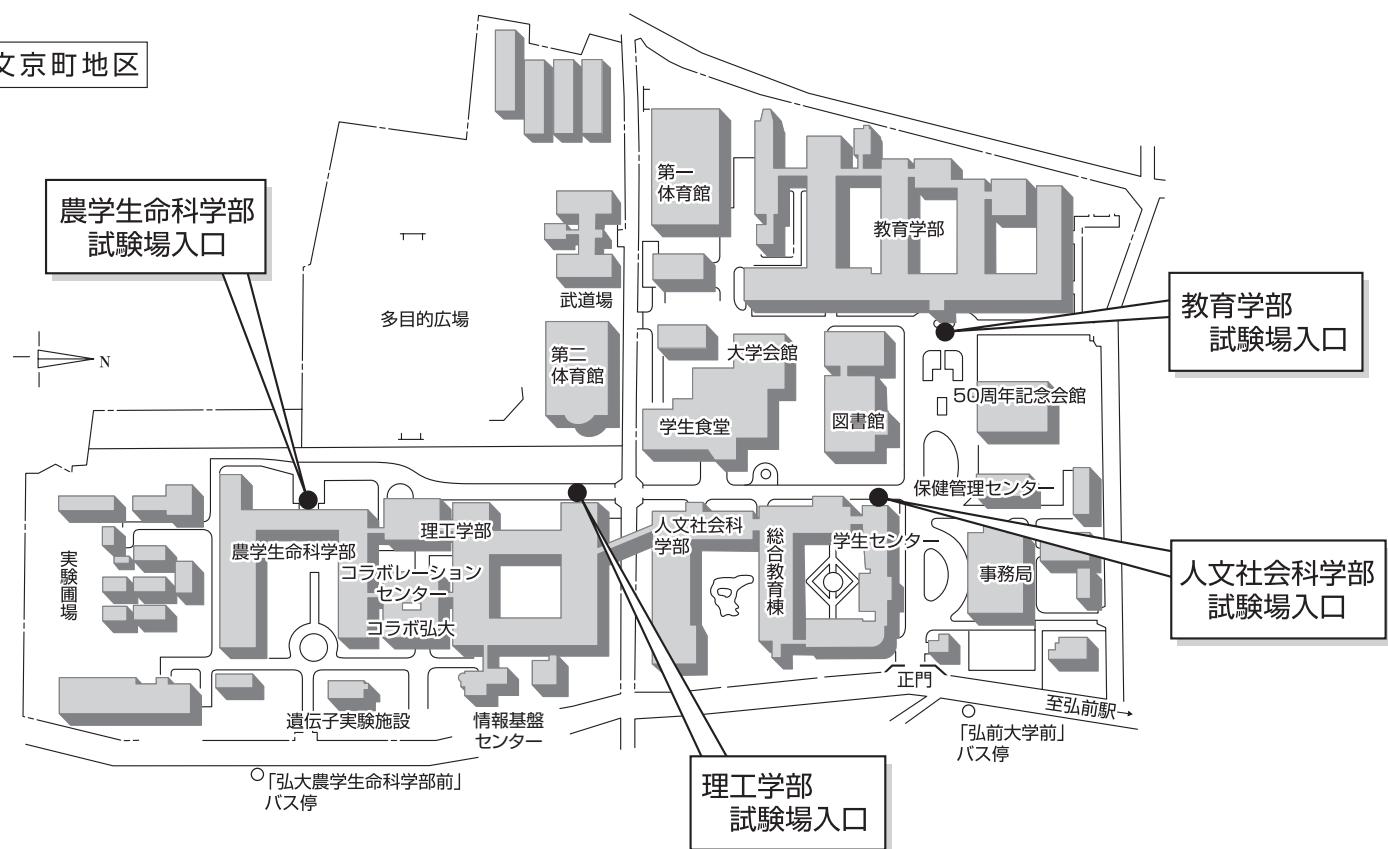
※24時間対応

■弘前大学生活協同組合への問合せ

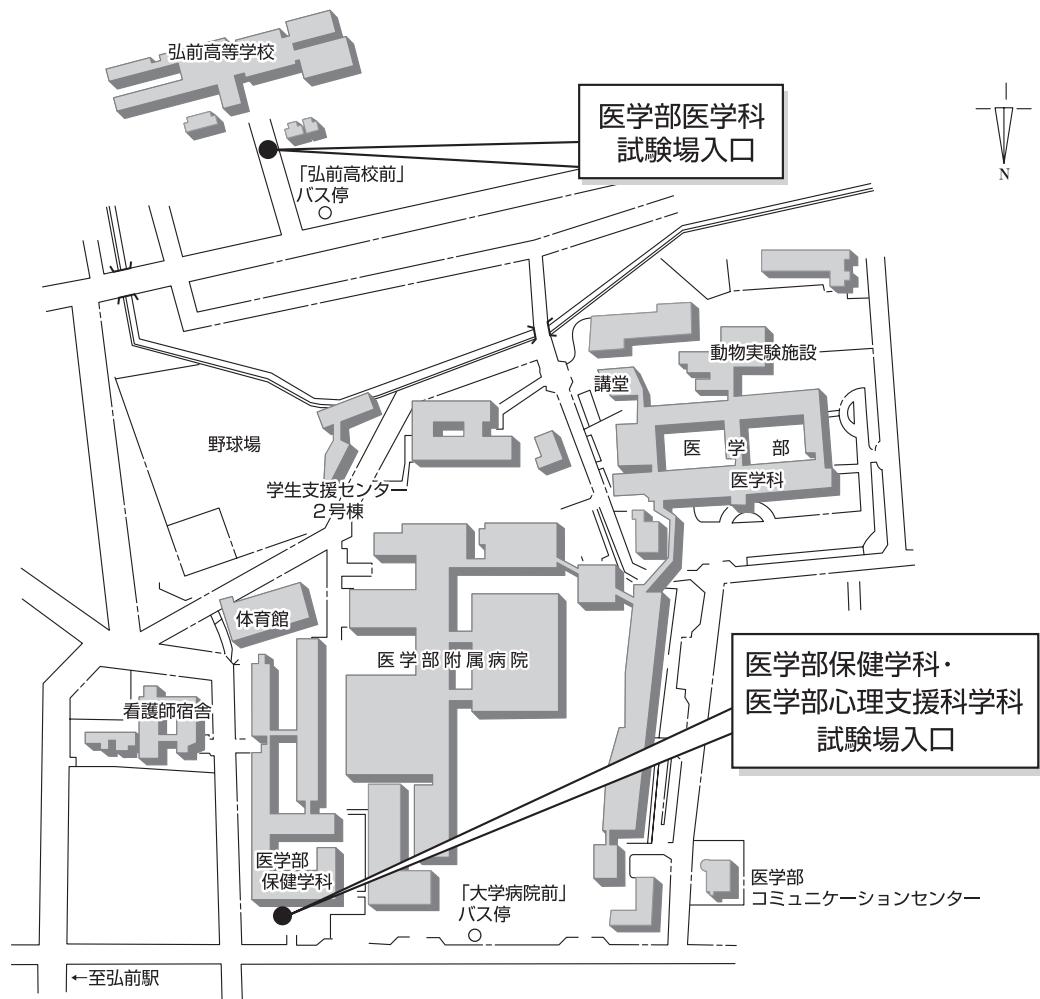
弘前大学生協サポセン（ https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/ ） 保護者説明会、新生活準備（教材・教科書・住まい紹介等）に 関すること ※平日 10:00～16:00（年末年始を除く。）	0120-154-163 携帯からは↓ 0172-34-9591
試験時の宿泊やチケット予約に関する事 下記からお問い合わせください。 https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/ready/stay/	電話でのお申込は お受けできません

弘前大学キャンパス略図

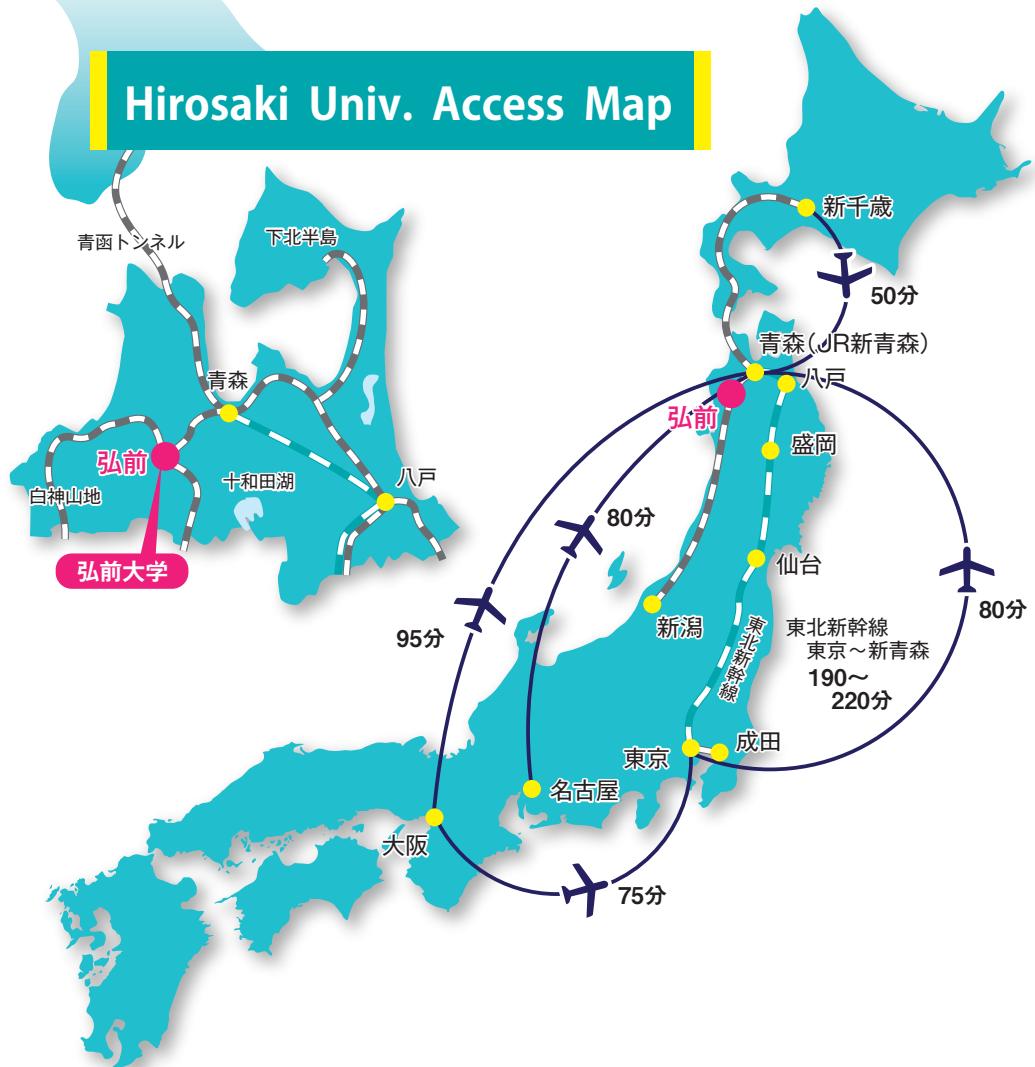
文京町地区



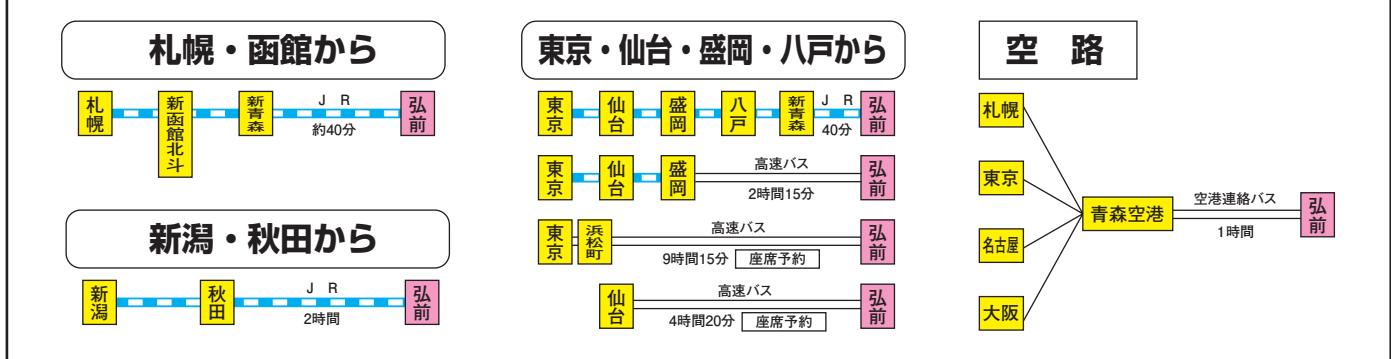
本町地区



Hirosaki Univ. Access Map



弘前までの交通案内



ロゴマークのコンセプト

弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフにし、5学部の桜の花が集結し、未来に向かひ一つ大きな花を開花させるというイメージを図案化。中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまるるという工夫を加えた表現にもしております。また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤) 医学部、(橙) 教育学部、(緑) 農学生命科学部、(紺) 工理学部、(紫) 人文社会学部としています。さらに、地球の周りに桜をちりばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え、「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。全体の色彩としても現代風のカラフルな色彩にしており、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。



HIROSAKI UNIVERSITY